

平成 18 年

臨地・薬局実習報告書

城西大学薬学部医療栄養学科

<城西大学所在地>

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

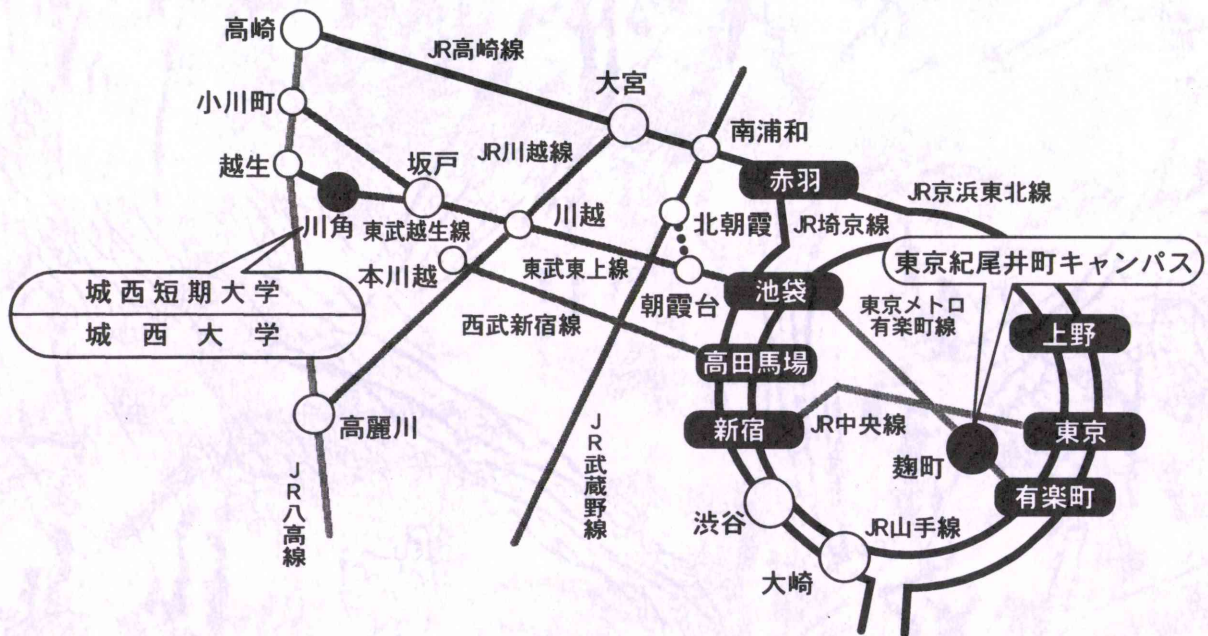
電話 049 (271)7711 (代表)

電話 049 (271) 7729 (薬学部事務室)

ホームページ : <http://www.josai.ac.jp>

<交通案内>

- 1) 東武越生線「川角(かわかど)駅下車。徒歩10分。
- 2) 関越自動車道「鶴ヶ島インターチェンジ」より車で20分
- 3) JR八高線「高麗川(こまがわ)駅よりシャトルバスで15分。



平成 18 年 城西大学薬学部医療栄養学科
臨地・薬局実習報告書

目次

1. 挨拶 「学部長 白幡 晶」	1
2. 「臨地・薬局実習」実施要領	3
3. 受入施設一覧	8
4. シラバス	12
5. 導入教育	18
6. 臨地・薬局実習プログラム例	22
7. 学生の感想・反省	27
8. 実習評価と意見・要望	47

1. 挨拶

ご挨拶

城西大学薬学部長 白幡 晶

城西大学薬学部、医療栄養学科にとりまして3年目の臨地・薬局実習が無事終了し、実習報告書を作成する運びとなりました。ここに、実習施設となった病院、保健施設、給食施設、薬局で本学の学生をご指導くださいました管理栄養士および薬剤師をはじめとする諸先生方、また、実習に関連してご協力賜りました多くの方々に心より御礼申し上げます。

本年は、6年制薬剤師教育が始まるという大きな転換点であり、薬学部の中にある本学科にとりましては、関連領域の新しい教育に大いに影響されることになるものと思われます。さらに、医療法の改正により、充実した地域医療の実現のための新しい制度の導入が予定されています。高齢社会にける医療のあり方の見直しを背景とするこのような制度変更は、これまでにも増して、医療にかかわる食の専門性を強調し、管理栄養士の幅広い活躍を期待したものだと思います。今後も本学科では、医療人を養成するという意識を基本として、来るべき未来に有用な知識、技能、態度を身につけた管理栄養士の養成に全力を傾ける所存です。

昨春および今春巣立っていった卒業生は、昨年臨地・薬局実習でお世話になった貴重な経験を糧として、それぞれの進路で元気に活躍しております。本年の実習においても、すべての学生に対しまして配慮にみちた心温まるご指導をいただき、大きく成長させていただきましたことに対して、心から感謝申し上げる次第です。

ここに作成いたしました臨地・薬局実習報告書をご覧いただき、ご意見、ご批判をお寄せいただければ幸甚に存じます。皆様方のご意見、ご批判を参考に、本学の実務実習、管理栄養士教育をより充実したものとさせていただければと考えております。本年の本学実習に対する多大なご協力に対して、重ねて御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

2. 「臨地・薬局実習」実施要領

平成18年 臨地実習Ⅰ（臨床栄養学） 実施要領

1. 目的 病院における管理栄養士の臨床栄養実務の実習
2. 対象学生 2003年度入学生（4年生）
3. 実施期間 平成18年6～9月の3週間
4. 実施施設 病院
5. 単位数 3単位、必修
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

平成18年 臨地実習Ⅱ（給食運営・給食経営管理） 実施要領

1. 目的 特定給食施設における管理栄養士の給食管理実務の実習
2. 対象学生 2003年度入学生（4年生）
3. 実施期間 平成18年6月から9月の1週間
4. 実施施設 病院および特定給食施設
5. 単位数 1単位、必修
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

平成18年 公衆栄養学実習 実施要領

1. 目的 保健所、保健センターにおける管理栄養士の公衆栄養実務の実習
2. 対象学生 2003年度入学生（4年生）
3. 実施期間 平成18年6月の1週間
4. 実施施設 保健施設
5. 単位数 1単位、選択
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

平成18年 薬局実習 実施要領

1. 目的 薬局における管理栄養士実務の実習
2. 対象学生 2003年度入学生（3年次または4年次）
3. 実施期間 平成18年3月から8月までの1週間
4. 実施施設 薬局
5. 単位数 1単位、選択
6. 実習書 大学独自で作成したもの
7. 成績評価 受入れ施設側の指導責任者の成績評価を城西大学薬学部医療栄養学科の教科委員会がとりまとめて認定
8. 保 険 学生教育研究災害傷害保険、個人賠償責任保険、感染症保険、施設賠償責任保険

3. 受入施設一覧

臨地実習Ⅰ（臨床栄養）・臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）

実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院	7月3日	7月28日	1	秋田県	湯沢市山田字勇ヶ岡	25
医療法人財団石心会 川崎幸病院	7月3日	7月28日	1	神奈川県	川崎市幸区都町	39-1
医療法人 積仁会 島田総合病院	6月5日	7月1日	1	千葉県	銚子市東町	5-3
神奈川県立汐見台病院	7月3日	7月29日	1	神奈川県	横浜市磯子区汐見台	1-6-5
株式会社日立製作所日立総合病院	7月3日	7月28日	2	茨城県	日立市城南町	2-1-1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院	7月3日	7月28日	1	福島県	福島市光が丘	1
独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院	7月10日	8月4日	2	埼玉県	蓮田市黒浜	4147
埼玉県立がんセンター	7月3日	7月28日	3	埼玉県	北足立郡伊奈町大字小室	818
財団法人 ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院	7月3日	7月28日	1	東京都	台東区東上野	2-23-16
順天堂大学医学部附属練馬病院	7月3日	7月28日	1	東京都	練馬区高野台	3-1-10
草加市立病院	7月3日	7月28日	1	埼玉県	草加市草加	2-21-1
十和田市立中央病院	7月3日	7月28日	1	青森県	十和田市西十二番町	14-8
日本大学医学部附属板橋病院	7月3日	7月29日	1	東京都	板橋区大谷口上町	30-1
医療法人 藤仁会 藤村病院	7月3日	7月29日	2	埼玉県	上尾市仲町	1-8-33
医療法人 徳洲会 大和徳洲会病院	7月3日	7月28日	2	神奈川県	大和市中央	4-4-12
医療法人 武蔵野総合病院	7月3日	7月28日	2	埼玉県	川越市大字大袋新田	977-9
医療法人財団石心会 狭山病院	7月3日	7月29日	2	埼玉県	狭山市鶴ノ木	1-33
	7月31日	8月26日	2			
医療法人埼玉成恵会病院	7月3日	7月28日	2	埼玉県	東松山市石橋	1721
医療法人社団尚篤会 赤心堂病院	7月3日	7月29日	2	埼玉県	川越市脇田本町	25-19
医療法人社団明芳会板橋中央総合病院	7月3日	7月29日	2	東京都	板橋区小豆沢	2-12-7
医療法人社団恵洋会 森川病院	7月3日	7月29日	1	千葉県	茂原市上茂原	388-12
医療法人積仁会旭ヶ丘病院	6月26日	7月21日	3	埼玉県	日高市大字森戸新田	99-1
医療法人刀仁会 坂戸中央病院	7月3日	7月22日	3	埼玉県	坂戸市南町	30-8
医療法人博仁会 共済病院	7月3日	7月28日	3	埼玉県	さいたま市緑区原山	3-15-31
国立がんセンター東病院	8月7日	9月1日	3	千葉県	柏市柏の葉	6-5-1
国立精神・神経センター武蔵病院	7月3日	7月28日	3	東京都	小平市小川東町	4-1-1
財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院	7月3日	7月28日	3	東京都	練馬区旭丘	2-41-1
埼玉医科大学病院	7月3日	7月28日	2	埼玉県	入間郡毛呂山町大字毛呂本郷	38
自治医科大学附属大宮医療センター*	7月3日	7月21日	2	埼玉県	さいたま市天沼町	1-847
社会福祉法人 賛育会 賛育会病院	7月3日	7月29日	3	東京都	墨田区大平	3-20-2
社団法人 東松山医師会病院	6月19日	7月14日	2	埼玉県	東松山市神明町	1-15-10
城東社会保険病院	6月26日	7月22日	2	東京都	江東区亀戸	9-13-1
大宮医師会市民病院	7月3日	7月28日	2	埼玉県	さいたま市北区宮原町	2-125-16
町田市民病院	7月3日	7月28日	1	東京都	町田市旭町	2-15-41
長野県厚生農業協同組合連合会 篠ノ井総合病院	7月3日	7月28日	1	長野県	長野市篠ノ井会	666-1
東海大学医学部付属八王子病院	7月3日	7月29日	2	東京都	八王子市石川町	1838
東京医科大学八王子医療センター	7月3日	7月28日	4	東京都	八王子市館町	1163
東京歯科大学市川総合病院	7月3日	7月29日	2	千葉県	市川市菅野	5-11-13
東京慈恵会医科大学附属柏病院	7月3日	7月29日	3	千葉県	柏市柏下	163-1
東京大学医科学研究所附属病院	7月3日	7月28日	2	東京都	港区白金台	4-6-1
東京都教職員互助会三楽病院	7月3日	7月28日	3	東京都	千代田区神田駿河台	2-5
東邦大学医療センター佐倉病院	7月3日	7月28日	1	千葉県	佐倉市下志津	564-1
医療法人社団ジャパンメディカルアライアンス	7月3日	7月29日	1	神奈川県	海老名市河原口	1320
特定医療法人社団新都市医療研究会【関越】会 関越病院	7月3日	7月29日	2	埼玉県	鶴ヶ島市大字脚折	145-1
特定医療法人社団堀ノ内病院	7月3日	7月29日	2	埼玉県	新座市堀ノ内	2-9-31
特定医療法人大坪会 東和病院	7月3日	7月28日	2	東京都	足立区東和	4-7-10
独立行政法人国立病院機構下志津病院	7月3日	7月28日	2	千葉県	四街道市鹿渡	934-5
独立行政法人国立病院機構高崎病院	7月18日	8月11日	2	群馬県	高崎市高松町	36
独立行政法人国立病院機構災害医療センター	7月10日	8月4日	2	東京都	立川市緑町	3256
独立行政法人国立病院機構相模原病院	6月26日	7月21日	1	神奈川県	相模原市桜台	18-1
独立行政法人国立病院機構東京医療センター	7月3日	7月28日	2	東京都	目黒区東が丘	2-5-1
独立行政法人国立病院機構東京病院	7月3日	7月28日	2	東京都	清瀬市竹丘	3-1-1
独立行政法人国立病院機構東長野病院	7月31日	8月25日	2	長野県	長野市上野	2-477
日本赤十字社医療センター	7月3日	7月28日	2	東京都	渋谷区広尾	4-1-22
北福島医療センター	7月3日	7月28日	1	福島県	伊達郡伊達町箱崎字東	23-1

*臨地実習Ⅰ（臨床栄養）のみ実施

臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）

実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
社会福祉法人 わらしこの会 わらしこ保育園	6月12日	6月17日	1	東京都	府中市若松町4丁目	27-6
陸上自衛隊大宮駐屯地	6月5日	6月9日	7	埼玉県	さいたま市北区日進町	1-40-7
陸上自衛隊練馬駐屯地	6月12日	6月17日	6	東京都	練馬区北町	4-1-1
陸上自衛隊朝霞駐屯地	6月5日	6月9日	6	東京都	練馬区大泉学園町	
	6月12日	6月17日	6			
航空自衛隊熊谷基地司令	6月5日	6月9日	8	埼玉県	熊谷市拾六間	839

臨地実習Ⅲ（公衆栄養）

実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
上尾市保健センター	6月12日	6月16日	3	埼玉県	上尾市春日	2-10-33
朝霞市保健センター	6月19日	6月23日	2	埼玉県	朝霞市本町	1-7-3
嵐山町健康増進センター	6月19日	6月23日	2	埼玉県	比企郡嵐山町大字杉山	1030-1
入間市健康福祉センター	6月5日	6月12日	1	埼玉県	入間市上藤沢	730-1
さいたま市中央区保健センター	6月12日	6月16日	2	埼玉県	さいたま市中央区本町東	4-4-3
さいたま市岩槻区保健センター	6月12日	6月16日	2	埼玉県	さいたま市岩槻区府内	1-8-1
坂戸市市民健康センター	6月5日	6月9日	3	埼玉県	坂戸市石井	2327-3
秩父市保健センター	8月7日	8月11日	1	埼玉県	秩父市永田町	4-17
東松山市保健センター	6月5日	6月9日	3	埼玉県	東松山市材木町	2-36
三芳町保健センター	6月12日	6月16日	2	埼玉県	入間郡三芳町藤久保	185-1

薬局実習

実習施設名称	実習期間		人数	所在地		
	自	至				
株式会社あさひ調剤	6月12日	6月16日	2	埼玉県	さいたま市北区東大成町	1-626-1
	6月26日	6月30日	2			
	8月28日	9月1日	2			
薬樹株式会社わかば薬局草加	6月5日	6月9日	1	埼玉県	草加市草加	2-20-11
	6月12日	6月16日	1			
薬樹株式会社あおば薬局伊奈	6月5日	6月9日	1	埼玉県	北足立郡伊奈町小室	9395
	6月12日	6月16日	1			
	6月19日	6月23日	1			
日本調剤株式会社	8月7日	8月11日	2	東京都	中央区八重洲	2-8-1
ウエルシア関東株式会社 ウエルシアさいたま与野	3月6日	3月10日	1	埼玉県	さいたま市中央区本町東	6-14-14
	3月13日	3月17日	1			
ウエルシア関東株式会社 ウエルシア北坂戸	3月6日	3月10日	1	埼玉県	坂戸市芦山町	13-4
	3月13日	3月17日	1			
	3月20日	3月24日	1			
ウエルシア関東株式会社 ウエルシア熊谷籠原	3月6日	3月10日	1	埼玉県	熊谷市別府	1-46
	3月13日	3月17日	1			
	3月20日	3月24日	1			
ウエルシア関東株式会社 ウエルシア東松山六軒町	3月6日	3月10日	2	埼玉県	東松山市六軒町	18-8
	3月13日	3月17日	1			
	3月20日	3月24日	1			
ウエルシア関東株式会社 ウエルシア坂戸浅羽野	3月6日	3月10日	1	埼玉県	坂戸市浅羽野	1-2-1
	3月13日	3月17日	1			
ウエルシア関東株式会社 ウエルシア坂戸柳町	3月6日	3月10日	2	埼玉県	坂戸市柳町	152-2
	3月13日	3月17日	1			
	3月20日	3月24日	1			
ウエルシア関東株式会社 毛呂本郷	3月6日	3月10日	1	埼玉県	入間郡毛呂山町毛呂本郷	1458
	3月13日	3月17日	1			
	3月20日	3月24日	1			
株式会社ファーコス	3月6日	3月10日	2	東京都	千代田区神田練堀町	68
恵比寿ファーマシー	8月21日	8月26日	2	東京都	渋谷区恵比寿	1-22-23
	8月28日	9月2日	2			
株式会社メディカルパティオ あすなろ薬局	3月6日	3月10日	3	埼玉県	入間市東町	7-13-16
株式会社アップルケアネット	3月6日	3月10日	2	栃木県	栃木市箱森町	53-30
株式会社日本アポック薬局アポック鶴ヶ島池ノ台店	3月6日	3月10日	2	埼玉県	鶴ヶ島市脚折	1440-35
	3月13日	3月17日	2			
有限会社サンワールドコスモ薬局緑町店	8月7日	8月12日	1	埼玉県	所沢市弥生町	2871-43
株式会社シブヤ薬局 ビッグドラッグ中央調剤薬局	3月13日	3月18日	2	埼玉県	所沢市東所沢	1-14-7
	3月27日	4月1日	2			
株式会社フォーラルひかり薬局/とまと薬局	3月6日	3月11日	2	東京都	江東区大島	6-9-11 メゾンサ
	8月28日	9月2日	2			
ゆずの木薬局	3月6日	3月10日	1	埼玉県	入間郡毛呂山町長瀬	2315-1
	3月13日	3月17日	1			
	6月12日	6月16日	1			
	6月19日	6月23日	1			
ユニコ調剤薬局	3月6日	3月10日	2	埼玉県	坂戸市八幡	2-9-9
株式会社高田薬局本社	3月6日	3月10日	1	静岡県	静岡市葵区若松町	41-1
株式会社高田薬局みなみ野店	3月6日	3月10日	2	東京都	八王子市みなみ野	5-15-5
株式会社高田薬局羽村店	3月6日	3月10日	2	東京都	羽村市五ノ神	2-1-10
薬の坂重薬局	6月19日	6月24日	1	埼玉県	坂戸市日の出町	6-24-101
株式会社望星薬局望星築地薬局	3月6日	3月10日	2	東京都	中央区明石町	11-15
	8月7日	8月11日	2			
株式会社望星薬局望星薬局	8月7日	8月11日	2	神奈川県	伊勢原市下糟屋	96-2
	8月28日	9月2日	2			
笠原健招堂薬局	3月6日	3月11日	1	石川県	羽咋郡志賀町富来領家町甲	63-4
セガミメディックス株式会社	3月6日	3月10日	2	東京都	大田区山王	2-1-7
株式会社エフケイ箭弓町店	3月13日	3月17日	1	埼玉県	富士見市羽沢	3-27-2
	3月20日	3月24日	1			
有限会社 桐芳堂薬局	6月5日	6月10日	1	埼玉県	鶴ヶ島市富士見	2-6-14
	6月12日	6月17日	1			

4. シラバス

臨地実習Ⅰ（臨床栄養学実習）

目的： 実践的な病院業務としての基礎知識および基本技能・態度の修得を目指し、医療施設における管理栄養士の実践的な業務を体験し、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行う能力を養う。

	実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
I	事前教育（城西大学内）	臨床栄養学実習を行うための必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の組織と業務内容 2 病院における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 医療人・実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題への積極的な取り組み、報告 7 患者のプライバシーの尊重と守秘義務 8 積極的なコミュニケーション 	
II	実習施設内オリエンテーション（組織と栄養部門）	各部門および栄養部門の役割、部門間の連携	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の概要と特徴 2 栄養部門の組織と職種、業務 3 栄養業務に関する他部門との調整 4 他職種の業務の概要を認識し、連携や役割分担を積極的に行う態度 5 病院組織と栄養部門の位置づけ、役割 6 他部門の見学（看護部、薬剤部、臨床検査部、リハビリテーション部、医事課） 7 病棟見学 	<p>病院長、事務局部長、施設見学、職員への挨拶 管理栄養士、栄養士、調理師、調理員 栄養委員会見学</p> <p>診療部、副診療部、看護部、事務部 カンファレンス、患者に対する服薬指導の見学</p>
III	法的規制と業務	法的な枠組みに沿った栄養部門の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規（医療法、保険診療制度、介護保険制度など）の枠組みと業務 2 入院時食事療養制度における食事管理と栄養指導業務の概要 3 栄養関係書類の種類と意義 	
IV	食事管理	食事の運営管理業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 入院患者の食事の管理システム 2 食種の区分と栄養基準 3 一般食の栄養基準量の算出方法 4 特別治療食の献立運用方法 5 食事箋の流れと記載事項 6 患者への配食方法、食札記入事項 7 治療食における少量多食種調理と配膳の運営管理方法 8 入院患者の食事の摂食量の把握方法 9 摂食量、QOLを上げる為の食事の工夫 	<p>直営、委託、オンライン</p> <p>年齢構成 疾病別、成分別</p> <p>適温、適時、食堂、選択食、行事食、嗜好食など</p>
V	食事設計	食事設計	<ol style="list-style-type: none"> 1 傷病者の栄養状態や合併症に対する食事設計 2 嚥下障害等への対応を目的とした形態調節食の区分や調整方法 3 医薬品と食事の相互作用に考慮した食事設計 4 特別用途食品を有効に活用した食事設計 5 特定保健用食品や健康補助食品を有効に活用した食事設計 6 患者の病状や栄養状態に配慮した食事設計 7 摂食量、QOLを上げる為の食事設計 	

実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
VI 栄養管理	栄養治療	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養管理システム 2 病棟における管理栄養士の業務 3 施設における栄養治療（経静脈栄養療法、経腸栄養療法） 4 強制経腸栄養療法の院内での管理方法 5 栄養アセスメント 6 患者の病態および栄養状態の評価・判定に基づいた栄養治療計画 7 嚥下障害者への対応 8 栄養管理における他職種との連携、役割分担 	<p>患者の把握、栄養管理計画、評価、判定</p> <p>IVH, 経腸栄養見学</p> <p>カルテ、検査値</p> <p>ST、摂食訓練、食事介助</p>
VII 栄養指導	栄養指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 栄養指導業務の種別 2 栄養指導に必要な患者情報、臨床検査値、服薬状況を確認する方法 3 栄養指導の依頼と報告の流れ 4 栄養指導指示箋の記載事項 5 栄養指導報告書の記載事項、記載方法 (POS) 6 主治医の治療方針の理解 7 治療方針に沿った他職種の患者に対するアプローチ 8 患者の心理状態に配慮した栄養指導 9 入院患者に対する医療面接と栄養指導 10 外来患者に対する栄養指導 11 患者の病状や栄養状態、心理状態に配慮した栄養指導 	<p>外来個別栄養指導、入院個別栄養指導、在宅訪問栄養指導、集団栄養指導、人間ドック、〇〇教室等</p> <p>医師、カルテ、カンファレンス</p> <p>医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ST（言語聴覚療法士）、OT（作業療法士）</p> <p>見学 見学</p>
VIII リスク管理	衛生安全対策	<ol style="list-style-type: none"> 1 院内のリスクマネジメント 2 感染予防などの安全衛生対策 3 調理や配膳における衛生管理 4 調乳や経腸栄養調整時における衛生管理 5 食中毒発生時の対応 6 災害時の対策 	<p>手洗い、消毒、予防衣手順、記録、教育</p>
IX 実習総括	専門的知識および技術の統合	<p>大学と施設で学んだ専門知識を基に、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理を行う能力の向上</p>	

臨地実習Ⅱ（給食の運営、給食経営管理実習を含む）

目的： 実践的な給食管理に関わる基本的知識および基本的技能・態度の修得を目指し、特定給食施設における献立管理、栄養管理、衛生管理、集団給食調理の実験を体験する。

	実習項目	実習目標	実習要点	メモ
I	事前教育（城西大学内）	給食施設実習に必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 給食施設の業務内容 給食施設における管理栄養士の役割と業務内容 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 実習生としてふさわしい身なりや態度 指示項目や課題への積極的な取り組み、報告 積極的なコミュニケーション 	
II	実習施設内オリエンテーション	施設の業務内容、管理栄養士の役割と業務	<ol style="list-style-type: none"> 施設の業務内容 施設における管理栄養士の役割と業務 	<p>施設長・管理栄養士</p> <p>施設内見学と職員への挨拶</p>
III	組織の概要	組織と栄養部門、給食経営形態	<ol style="list-style-type: none"> 組織と栄養部門の位置づけ、役割 栄養部門と他部門との連携 栄養部門の組織と職種、業務分担 給食経営形態 	直営、準直営、委託
IV	給食施設の概要	施設、設備管理	<ol style="list-style-type: none"> 効率的な運営をするための施設、設備管理 作業動線に適した作業区分の領域設定 衛生管理上の領域設定 	厨房のレイアウト、機器、器具類
V	作業管理	作業管理	<ol style="list-style-type: none"> 作業区分ごとの調理作業の流れ 一定期間におけるシフト管理 調理作業工程と作業領域 大量調理の特性と留意点 温冷食配膳の方法 	
VI	食材管理	食材管理	<ol style="list-style-type: none"> 食材料の購入計画 食材料の発注、納品・検収、保管方法 	検収作業の見学
VII	栄養管理	施設の給食方法、栄養管理と献立の役割、評価	<ol style="list-style-type: none"> 供食形態 給与栄養目標量の設定 給与栄養目標量に基づいた食品構成 給与栄養目標量に基づいた献立作成とその施設における献立の特徴 実施献立に対する評価方法 給食状況調査 調理作業員および喫食者に対する栄養教育の方法 	<p>単一、複数献立、カフェテリア方式</p> <p>年齢、性別、生活活動強度</p> <p>栄養出納表、栄養報告書</p> <p>喫食量調査、残食調査、嗜好調査</p> <p>献立内容の紹介、栄養メモ</p> <p>栄養相談、試食会、料理講習会等の見学</p>
VIII	経営管理	給食事務管理	<ol style="list-style-type: none"> 帳票類の種類と作成方法 コンピューター処理業務 コスト管理の概要 	食事計画、食品管理、食数管理、検食簿、給食日誌
IX	衛生・安全管理	衛生・安全管理	HACCPに基づく衛生管理の具体的方法と測定、記録方法	食材管理、温度管理、施設・設備管理、検食・保存食、衛生教育
X	実習総括	専門的知識および技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識の実践の場での応用	

臨地実習Ⅲ（公衆栄養学実習）

目的： 保健施設で活躍する管理栄養士として持つべき基本的知識および基本的技能、態度の修得を目指し、公衆衛生・地域保健と連携して行う疾病予防・健康増進のための栄養教育の実際を体験する。

実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
I 事前教育（城西大学内）	保健施設実習に必要な基礎知識、態度	1 保健施設の業務内容 2 保健施設内における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題の積極的な取り組み、報告 7 積極的なコミュニケーション	学内外講師による講義 服装、言葉づかい、挨拶などの徹底
II 実習施設内オリエンテーション	施設の業務内容、管理栄養士の役割と業務	1 保健施設内の各部門の業務内容 2 施設における管理栄養士の役割と業務 3 管理栄養士の所属部門と他部門との連携	施設長および部門長、管理栄養士などによるオリエンテーション 施設内見学と各部門の責任者、職員への挨拶
III 地域保健栄養体制の整備	地域保健栄養体制と管理栄養士の役割	1 「健康日本21」の地方計画 2 地域保健医療計画 3 栄養改善事業計画 4 関連部門との連携 5 外部機関および団体との連携	事業計画案など資料閲覧 健康づくりボランティア活動 患者会
IV 栄養相談と栄養指導	ライフステージ別、健康栄養状態別栄養関連サービス	1 栄養上のハイリスク集団の特定の仕方 2 栄養相談におけるコミュニケーション術 3 栄養関連サービスプログラム 4 栄養指導記録の記載法	ライフステージ別の栄養指導、巡回訪問 乳幼児健診 POS、栄養指導・相談の見学
V 健康教育	各種教室・講習会	各種教室・講習会における健康教育の見学	高脂血症予防教室 骨粗しょう症予防教室 離乳食講習会 糖尿病講習会
VI 啓発事業	啓発事業の種類	健康フェア、健康祭、栄養展などの啓発事業	各種啓発事業の体験
VII 人材の育成と活用	人材の育成と活用	1 在宅栄養士の育成と活用 2 管内栄養士教育研修制度の内容、実施法	研修プログラムの閲覧
VIII 健康・栄養調査と情報分析	健康・栄養問題に関する情報の収集・分析	1 保健統計調査 2 住民に対する各種調査法 3 情報分析の方法	国民生活基礎調査 国民健康栄養調査
IX 実習総括	専門知識及び技術の統合	大学と施設で学んだ専門知識の実践の場での統合	

薬局実習

目的： 実践的な薬局管理栄養士の業務における基礎知識および基本技能・態度の修得を目指し、薬局における管理栄養士の実践的な業務を体験し、健康・栄養状態および服薬その他健康食品の使用状況に基づいた適正な栄養指導を行う能力を養う。

	実習項目	実習目標	実習の要点	メモ
I	事前教育 (城西大学内)	薬局実習を行うための必要な基礎知識、態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬局の組織と業務内容 2 薬局における管理栄養士の役割と業務 3 実習の目的や意義の認識と積極的な態度 4 実習に必要な身支度、用具、用品の準備 5 医療人・実習生としてふさわしい身なりや態度 6 指示事項や課題への積極的な取り組み、報告 7 患者のプライバシーの尊重と守秘義務 8 積極的なコミュニケーション 9 薬剤師倫理規定の理解 	
II	実習施設内 オリエンテー ション	薬局の機能・役割と薬 剤師の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設の概要と特徴 2 薬局の機能と役割 3 薬剤師の職務 4 保険調剤の流れ（処方せん受付から投薬まで） 5 調剤室見学 	
		薬局管理栄養士の役 割、薬剤師との連携	<ol style="list-style-type: none"> 6 薬局管理栄養士に求められる役割 7 薬局における業務の概要の認識と連携および役割分担（チーム医療） 	
III	法的規制と業務	法的な枠組みに沿った 栄養部門の業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 関連法規（医療法、保険診療制度、介護保険制度など）の枠組みと業務 2 調剤報酬算定のしくみ 	
IV	栄養指導	栄養指導業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 来局者のライフステージや栄養状態あるいは病状に対応した栄養指導 2 医薬品と食事の相互作用を考慮した栄養指導 3 特別用途食品を有効に活用した栄養指導 4 特定保健用食品や健康補助食品を有効に活用した栄養指導 	
V	来局者情報管理	来局者の情報管理	<ol style="list-style-type: none"> 1 来局者の情報源の種類と特徴 2 来局者の疾患領域の把握 3 栄養指導に必要な患者情報 4 処方薬からの疾患名の推察 5 薬物の効果および副作用のモニタリング（情報収集、評価） 6 薬歴管理の方法 7 栄養指導歴の記載事項および方法（POS） 8 服薬指導の概要 9 来局者情報の共有 	
VI	薬局における商 品販売業務	販売業務	<ol style="list-style-type: none"> 1 薬局で取り扱う商品（特別用途食品、特定保健用食品、健康補助食品、いわゆる健康食品、医薬部外品など）の特徴と使用上の注意点 2 販売の実際 	
		商品管理業務	<ol style="list-style-type: none"> 3 商品管理の実際 	
VII	実習総括	専門的知識および技術 の統合	大学と施設で学んだ専門知識を基に、健康状態や栄養状態の特徴に基づいた栄養管理を行う能力の向上	

5. 導入教育

臨地・薬局実習事前教育

平成 17 年 7 月 19 日（金）、津田整、岩瀬靖彦（城西大学薬学部）

1. 臨地実習全般について（導入教育・手続きなど）

平成 17 年 10 月 22 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 病院における給食管理実習と臨床栄養学実習概要
2. 実習を受け入れる意義、受け入れ側の思い
3. 実習を受け入れる立場から特に心がけて欲しいこと
4. 実習までの準備
5. 臨地実習における心構え
6. 臨地実習における具体的な目標
7. 実習にふさわしい身なりや態度、言葉使い、話題
8. 実習中の態度
9. 過去の実習具体例
10. 病院組織（総合病院）
11. 病院における栄養部門の立場・役割

平成 17 年 11 月 12 日（土）、石原義光（マツモトキヨシ人事部）

1. ビジネスマナーのポイント
2. 接遇に必要なパーソナリティ
3. コミュニケーション上手に必要な技術
4. ビジネスマナーの習得
5. 接遇でよく使う表現
6. 接遇に必要な会話マナー

平成 17 年 12 月 17 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 病院における給食管理実習の事前準備
2. 病院における実習についての注意事項
3. 病院における給食経営管理
4. 給食管理業務と役割分担
5. 給食施設の運用
6. 衛生管理についての取り組み
7. 適温の食事提供
8. 入院時食事療養制度の概要
9. 食事名と成分コントロール、形態コントロールとの関係

10. 食事オーダーの流れ
11. 食事提供の流れ
12. 選択食、行事食、個別対応
13. 調乳・経腸栄養の調整

平成 17 年 12 月 24 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 臨床栄養管理とは
2. 病棟における管理栄養士の業務
3. 外来における管理栄養士の業務
4. 医療チームの一員として他部門との連携・役割
5. 栄養部門内の栄養管理業務
6. 院内約束食事箋(食事規約)
7. 一般治療食基準
8. 特別治療食基準

平成 17 年 12 月 27 日（火）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 臨床栄養管理の実際
2. 臨地実習で学ぶこと
3. 外来における管理栄養士の業務
4. 医療チームの一員として他部門との連携・役割
5. 栄養部門内の栄養管理業務
6. 栄養指導の実際
7. 一般治療食基準
8. 特別治療食基準

平成 18 年 2 月 9 日（木）、津田整、和田政裕、岩瀬靖彦、加園恵三（城西大学薬学部）

1. 薬局実習事前教育
2. 臨地実習について
3. 筆記試験

平成 18 年 2 月 18 日（土）、水野文夫（日本赤十字社医療センター）

1. 症例検討（4 症例について検討）

平成 18 年 5 月 15 日（月）、松本明世（城西大学薬学部）

1. 食事摂取基準（演習）

平成 18 年 5 月 16 日（火）、江端みどり（城西大学薬学部）

1. 給食管理実習のための事前教育

平成 18 年 5 月 23 日（火）、片野恵理（坂戸市立市民健康センター）

1. 健康なまち「さかど」の実現に向けてー栄養業務活動を通じてー

平成 18 年 5 月 29 日（月）、加園恵三、岩瀬靖彦（城西大学薬学部）

1. 臨地実習のための臨床栄養
2. 実習前の諸注意

平成 18 年 5 月 30 日（火）、江端みどり（城西大学薬学部）

1. 診療報酬制度の改定など

平成 18 年 6 月 17 日（土）、山王丸靖子、医療栄養学科教員（城西大学薬学部）

1. OSCE（客観的臨床能力実技試験）トライアル
医療人として兼ね備えるべき態度を確認することを目的とした

6. 臨地・薬局実習プログラム例

○○○○○○ ○○○○○○大学

3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)	8日(土)
関係部所への挨拶 オリエンテーション 施設の概要と特徴説明 配膳作業	調乳 配膳作業	作業準備 ミーティング 調理作業(特別食) 配膳作業	事務作業 ミーティング 調理作業(特別食) 配膳作業	作業準備 ミーティング 調理作業 配膳作業	
栄養管理業務の概要説明	衛生管理、温・冷配膳のための備品機器について 調理作業(特別食) 小耳症のクリニカルパスについて	食数管理業務 入院時食事療養一般食、特別食	下膳作業 特別食の特殊食品・在庫管理		
10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)
オリエンテーション ミーティング カルテ情報の検索 病棟訪問 栄養指導	オリエンテーション ミーティング 事務作業 カルテ情報の検索 病棟訪問	オリエンテーション ミーティング カルテ情報の検索 病棟訪問 医学部見学	オリエンテーション ミーティング 小児糖尿病サマーキャンプ準備 病棟訪問 病棟訪問 運動療法	オリエンテーション ミーティング 小児糖尿病サマーキャンプ準備 病棟訪問 糖尿病教室研修 病棟訪問 NSTラウンド	
17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)
	オリエンテーション ミーティング 小児糖尿病サマーキャンプ準備 カルテ情報の検索	刑務所見学	オリエンテーション ミーティング 1.6%ゼリーの調理 NSTフォーラム準備	オリエンテーション ミーティング 小児糖尿病について	小児糖尿病サマーキャンプ
	調理室清掃 事務作業 1.6%ゼリー調理	事務作業 臓器移植コーディネーター業務	小児糖尿病サマーキャンプ準備 病棟訪問 小児科栄養教室	栄養管理委員会 小児糖尿病サマーキャンプ	NSTフォーラム
24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)
オリエンテーション ミーティング 事務作業 カルテ情報の検索 病棟訪問 事務作業	オリエンテーション ミーティング 透析見学 カルテ情報の検索 病棟訪問	オリエンテーション ミーティング カルテ情報の検索 病棟訪問 薬剤部見学 1.6%ゼリー調理	オリエンテーション ミーティング 栄養指導 カルテ情報の検索 1.6%ゼリー調理 病棟訪問 事務作業	オリエンテーション ミーティング カルテ情報の検索 1.6%ゼリー調理 NICU見学 展示室見学 反省会 関連部所への挨拶	

〇〇〇医療センター

3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
部門内、関連部署への挨拶 食事設計 施設の概要と特徴説明 施設の見学	食事の運営管理業務 食事設計 病院給食の献立の成り立ち 配膳作業の見学	食材管理 食品の発注・検収 作業管理 配膳作業の見学 食事調査見学	衛生管理の実習 安全管理 リスク管理	担当患者の栄養必要量の判定 特殊調理食品について
各部門および栄養部門の役割、部門間の連携 法的規則と業務 消化器カンファレンス見学	食数処理の体験 食事オーダーの確認	栄養管理やベッドサイド訪問の準備 嗜好調査(アンケート調査)の構成作成 嗜好調査 ひかりカンファレンス 担当患者の決定	担当患者の摂取量調査 嗜好調査の集計・まとめ リハビリカンファレンス	担当患者の摂取量調査・栄養評価・栄養ケアプラン作成・NST 食事オーダー・食数の管理 DMカンファレンス 中間的な反省会
10日(月)	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)
給食・院内におけるコンピューターシステムの研修 経営管理	今日の個別栄養指導の報告書作成およびケースカンファレンス	厨房業務	パントリー作業 盛り付け・配膳作業	担当患者のベッドサイド訪問および栄養評価 食事オーダー問い合わせへの対応
個別栄養指導の準備 個別栄養の見学と指導記録の作成	集団栄養指導の見学と指導記録の作成 集団栄養指導についての検討会	厨房業務	パントリー作業 食事の温度管理(適温給食に向けて)	担当患者についてのアセスメント報告会・反省会 担当患者を決める

3・4週目は1・2週目の内容を適宜組み合わせる

報告書の作成(実習施設、養成施設それぞれに報告書を作成し提出する。)

〇〇〇〇保健センター
平成18年5月10日

城西大学薬学部
医療栄養学科学生実習

週間予定表
平成18年6月

日	研修内容	時間
12 (月)	母親学級 (3回目) (調理実習) オリエンテーション	9:30~14:00 14:00~16:30
13 (火)	食生活改善推進委員養成講座 (6回目)	9:30~15:00
14 (水)	育児相談 (乳児期) 育児相談 (幼児期)	9:30~12:00 13:30~16:00
15 (木)	離乳食教室事前準備 (試食用離乳食の準備) 離乳食教室	9:00~12:00 13:30~15:00
16 (金)	ヘルスメイト地区伝達講習会 (調理実習) 母親学級(4回目)見学 反省会	9:00~13:00 13:30~16:00

〇〇薬局実習スケジュール

	午前	午後
3月6日（月）	本社 講義	A薬局（店舗）での実習
	実習項目Ⅱ-実習施設内オリエンテーション 薬局の機能・役割と薬剤師の業務 （薬剤師の倫理規定、内規） 実習項目Ⅲ-法的規制と業務 （社会人としてのルール）	業務内規の確認、処方箋受付業務、薬歴整理、店舗内の見学、店舗内資料での自習
3月7日（火）	A薬局（店舗）での実習	A薬局（店舗）での実習
	店内清掃、開店準備、処方箋受付業務、薬歴整理	軟膏つめの体験、ミーティングに参加、処方箋受付業務、添付文書についてレクチャー、薬物食品相互作用についてレクチャー、ミーティングに参加
3月8日（水）	本社 講義	B薬局（店舗）での実習
	実習項目Ⅳ-薬局における栄養指導 （社内の栄養教育、薬物食品相互作用） 実習項目Ⅴ-来局者情報管理 （薬歴管理、服薬指導）	処方箋受付、薬歴整理、店内清掃、薬剤発注管理、患者様への保険証の確認業務
3月10日（金）	本社 講義	B薬局（店舗）での実習
	実習項目Ⅵ-薬局における商品販売業務 （調剤薬局のビジネス、サプリメントの問題点） 実習項目Ⅶ-実習総括	処方箋受付、薬歴整理、店内清掃、薬剤発注管理、患者様への保険証の確認業務、粉剤分包、軟膏練り、軟膏計量
3月11日（土）	B薬局（店舗）での実習	
	店舗内清掃、処方箋受付、薬歴整理、服薬指導の見学、調剤業務の補助	

7. 学生の感想・反省

病院で実習を終えた学生の声

病院での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

<臨地実習Ⅰ（臨床栄養）>

1. 栄養マネジメント

- ・ 医師からの食事箋、献立作り、食札作り、発注、検品などの食事設計・管理についての流れを説明していただき、ポイントや注意点などが理解できました。
- ・ 模擬栄養指導を行うことで、栄養指導の流れや疾患別に話す重点を変えていくという方法が分かるようになった。
- ・ 栄養指導では、患者様の行動変容が一番の目的であって、自分の意見を押し付ける場所ではないということを学んだ。カルテから栄養評価に必要な情報を得る練習をする事ができた。
- ・ カルテやコメディカルの方たちからの情報だけでは、隠れていること把握しきれないことが多く、毎日昼休みに回診することによってわかることがたくさんありました。
- ・ 病棟ベッドサイドや外来栄養指導での患者様の対応について理解することができた。
- ・ 栄養指導報告書の記入方法(POS)を常に意識しながら病棟・外来栄養指導を見学することができた。
- ・ 患者様の電子カルテを自分で見て情報収集を行うこともできた。
- ・ 患者様のカルテを参照し、栄養ケアを行いました。スクリーニングやアセスメントでは必要エネルギー量、薬剤管理では経腸栄養や静脈栄養について、栄養ケア計画では短期目標と長期目標の設定をさせていただきました。何回かやり直したりして、うまく進まないこともありましたが、教科書の復習にもなり、薬剤管理もさせていただき、臨床の知識が深まったような気がします。
- ・ 患者様を入院から退院まで毎日病棟訪問することで、形態が重湯、お粥、ご飯と上がるごとの患者様の問題点などを見ることができた。
- ・ 嗜好調査を行うことで患者様とのコミュニケーションのとり方が体験でき、嗜好調査を行う意味が理解できた。
- ・ 患者様の病態および栄養状態に適した栄養治療計画の立案・栄養治療食献立立案をすることができた。
- ・ 栄養ケアマネジメントを行うことで、人にとって食事（栄養）がいかに重要なものなのかが改めて理解できた。
- ・ 栄養管理計画書の作成も毎日やるにつれて1人でも完成させることができるようにまできました。
- ・ 母親学級、糖尿病教室、個別の栄養指導を見学させていただき、発表の仕方・資料の利用方法・言葉使いなどについて勉強できました。
- ・ 栄養指導の際は、どの管理栄養士の先生も“知識の押し売り”ではなく多少かみ砕いた内容で指導していた点に感銘を受けました。
- ・ 調理場は委託の会社に任せており、病院の管理栄養士2人で栄養指導、病棟訪問等をしていましたが、それでも忙しすぎる現状と病院の管理栄養士の仕事の量と幅の広さに驚きました。
- ・ デイケアや栄養指導により、患者様にわかりやすく伝える方法や、患者様がどのような知識を持っていて何を知りたいのかがわかった。
- ・ 色々学ぶことができたが、特に経腸栄養剤や輸液の種類とパソコン操作を覚えることができた。
- ・ 栄養部内の業務だけでなく薬剤部やリハビリ部の業務も一日ごとですが見学させていただき食事との各々の関連性をわずかながら理解することが出来ました。

- ・管理栄養士にとって薬の知識はやはり必要不可欠なものだった。また栄養科以外に放射線科や臨床検査科を見学することができ貴重な経験をしました。
- ・筋ジストロフィー、精神、重症心身障害についての理解が深まった。
- ・実際の検査データを見て、どのような疾患が発症しているかといったことを学び、実習に行ったことで考える力がついた。
- ・褥瘡回診などを通じて、管理栄養士以外の医療従事者の病院内での働きや仕事、管理栄養士との係わりについて学ぶことができました。
- ・学校の実習でやった発表や媒体作りは健康教室での発表に役立った。

2. 患者様とのコミュニケーション

- ・栄養指導を行う際、患者様の生活背景や家族背景を考慮した上で患者様個々に合った指導を行うということを学んだ。
- ・外来栄養指導では、フードモデルを用いることによって視覚的に分かりやすくするなど工夫をして患者様と話していました。
- ・栄養指導に関しては、初めての人と数回目の人では接し方が異なっていました。質問ばかりでなく、会話になっていました。患者様にも会話が好きで自分からどんどん話す人もいれば、自分からはあまり話さない人などいろんな患者様がいました。今までのデータとの変化をみたりしていました。また、良い食事をしている人に対しては、「すごくいいですね。」などとたくさんほめていました。
- ・患者様と日々触れ合う事により、自分のやる気にもつながり、患者様との信頼にもつながることを感じました。
- ・4週間と長い実習期間だったので、実習最終日に近づくにつれて、患者様が私たちの顔を覚えてくださり、笑顔で返してくれたときは、信頼関係から患者様が安心して食事をすることができ、さらに栄養状態が良くなり、とてもうれしかったです。
- ・食べることにより顔色が良くなる、表情が豊かになる患者様が多く、食事の大切さを痛感しました。
- ・患者様の栄養状態改善のためには、医療スタッフが一丸となって働くことが大切であること、これがチーム医療の実際だということが学べました。
- ・病棟回診に連れて行ってくださったり、食事をしているところを見学に行ったり、糖尿病教室を見学させていただいたので、直接患者様の声を聞くことができたり反応を見ることができたりして学校では学べないことを勉強することができました。
- ・管理栄養士の先生方は大変お忙しいにも関わらず、よく面倒見ていただき、さらに熱意のある指導をしていただけるので嬉しかったです。管理栄養士というものが、患者様の役に立ち、社会に貢献していることがわかり、管理栄養士の意義ややりがいを見出すことができました。
- ・回診にも参加させて頂いて、患者様の手術後のケアの様子などを見させて頂き勉強になりました。
- ・患者様と一緒に食事をする事で、患者様がどういうことを考えているかわかってよかった。
- ・管理栄養士にとって大切なことは病気の知識、食の知識というよりは患者様と話すことができるコミュニケーション能力だと感じた。
- ・アンケート調査などで、患者様に対してのコミュニケーションの仕方、大切さを学びました。
- ・一症例担当させていただき患者様の問診を実際に行うことができ、患者様の情報を詳しく聞き出す難しさを体験できた。

3. NST

- ・ 週2回ほど NST ラウンドに同行させて頂く機会があり大変よい経験となりました。月1回行われている NST 会議では内科医、歯科医師、看護師、作業療法士、ヘルパーの方、調理員、管理栄養士が集まっています、この会議での意見交換の様子は大変学び取ることの多い時間となりました。
- ・ 医学部の研究室見学、刑務所見学、小児糖尿病サマーキャンプへの参加、臓器移植経験者とのお話、NST フォーラムなど病院実習の枠にとらわれない様々な経験ができました。
- ・ NST ランチタイムミーティングや医局セミナーに参加させていただきました。管理栄養士以外の方（医師・看護師など）の意見も聞けて大変良かった。栄養療法を積極的に考えている方と否定的な方に分かれたが、ほとんどの方は積極的だったので、この考え方をさらに広めていくのが管理栄養士の役割だと思った。
- ・ NST ミーティングでは他のスタッフの協力体制を見ることが出来てよかった。
- ・ NST 勉強会や医療安全委員会を見学させていただき、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士の方々の考え方や企業の方による新しい情報を聞くことができました。
- ・ 個人の栄養指導の見学や NST ラウンド、集団教室など、病院ならではのことを経験でき、とても充実した実習内容でした。指導して下さった先生方も忙しい中、私たちの要望に答えて、日程を変更していただいたり、展示会に連れて行って下さったり、とても感謝しています。
- ・ NST ラウンドに参加し、医療スタッフとの連携を実際に見ることができた。それにより、こんなにも管理栄養士が必要とされているのだと実感でき、病院で働く管理栄養士の仕事にとても魅力を感じた。
- ・ NST において、今は医師や看護師から様々な情報を得たり、管理栄養士から知識を提供したり、といった関係が築かれているけれど、そうなるまでには何年もかけて他職種の人とコミュニケーションをとったり、勉強をしてきた、と先生がお話していて、自分から様々な人に話しかけたり、学び取ろうとする姿勢が大切であることを感じました。

4. 施設・指導者

- ・ 先生方の栄養指導がとてもすばらしかった。また、個別栄養指導では管理栄養士の先生方の知識の広さとコミュニケーション能力の高さに感心した。
- ・ 指導者の先生から、栄養指導の事だけでなく、資料のまとめ方や話す時には要点を簡潔に話す事など、色々な事を教えて頂きました。
- ・ 課題も他の施設でどのくらい出されているのか分かりませんが多くの課題をやらせてもらい自分にとって凄くいい経験になりました（メニュー作成、栄養指導のロールプレイ、栄養補給量の計算、オードブルの作成など）。
- ・ 栄養指導は、担当の管理栄養士の先生が行う栄養指導を、たくさん見学することができた。
- ・ 患者様の喫食率などをみてあまり食べてないとわかると患者様になぜ食べられないのか、好きなものがあるか嫌いなものがあるかなどを聞き、大部屋の場合は、その病室の全ての人と不利がないようにコミュニケーションが取れるようにしていた
- ・ 病棟に行く機会がわりとあったので、患者様や他の医療スタッフと関わることができ、勉強になり、楽しかったです。

5. 感想・反省

- ・入院患者様への栄養指導をベッドサイドにて行うことで患者様の負担も少なく行えると思えました。
- ・他職種との連携を大切し、治療方針や経過を管理していかつ患者様の意思を尊重した栄養指導を行っていると思えました。
- ・栄養指導を見学することができ、これまで考えていたものとは違い、もっと要点をしぼり、配布資料を活用しながら分かりやすいものにしていくことが大切なのだと思います。
- ・最後に症例検討を発表したが、担当した患者様の現病歴や既往歴、検査値など、自分で全てカルテから探し出し食事療法までを考えたので、背景等から指導内容を考える力がついたと思う。
- ・私の思っていたよりも、管理栄養士が病棟に出向き、患者様や他職種の医療スタッフと情報交換をしていたのが、とても印象的でした。そして小さな病院なので、患者様一人一人に合わせた個人オーダーの食事が出ていて、驚きました。
- ・医師、看護師だけでなく管理栄養士も病棟を回り、患者様と接することで患者様の状態を把握し、栄養管理計画を立てることが大切だと思えました。
- ・医師や看護師や薬剤師だけでなく理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、検査技師など様々な部門の方々とも話ができる機会があるので、とても勉強になった。
- ・病棟にでて患者様とお話する機会や、在宅の患者様の訪問に同行させていただくなど、今までにない貴重な経験ができたのでよかった。
- ・管理栄養士の仕事について実際に体験させていただくことも多くあり、とてもいい経験になりました。また、透析クリニックがあり、透析患者様の様子なども見学させていただけました。病院の先生方のご指導も熱心でとても充実した実習になりました。
- ・私たちが作った媒体に患者様も興味を示していただけて、色々質問などをされコミュニケーションをとることができ、そしてみなさんに感謝されとても感動しました。
- ・栄養指導のロールプレイングでは、聞きたいことやどの様に説明していくかが頭の中に思い浮かんでも実際に言葉するのは難しかったです。
- ・外来の栄養指導において、私は、食事のことだけについて指導するのだと思っていました。しかし、先生は、患者様1人1人に合った指導をされていて、時には世間話が主な方もいらっしゃいました。ストレスが多くて血糖が上がってしまっている方でした。このように指導する側が柔軟に対応することが大切だと気付きました。
- ・糖尿病カンファレンスでは、医師や看護師の意見が聞ける貴重な場ですごく面白かった。糖尿病治療薬について詳しい知識をつけておくと話の内容がより深く理解できると思う。

<臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）>

1. マネジメント

- ・作成した献立を実際に出した事で、自分の立てた献立が形になり患者様が食べる事を実感できた。
- ・給食業務では材料の納品から、下処理、調理、配膳、提供、摂食までの一連の流れを数回に分けて全て見学することができてよかった。
- ・調理は大量の食材を切り盛り付けも手伝うことができて、楽しく作業を行わせていただいた。配膳の場所が暑く作業もすばやく行わなくてはいけないので、大変な作業だと思った。配膳を行っている方のスピードに驚いた。
- ・調理の皆さん、自分の仕事に自信と誇りを持って楽しんで作業をしていました。嚥下食をどうやっ

たらもっと美しく、おいしく作れるかを常に考えてらっしゃいました。

- 地域の方を招いての家族介護教室を行い、情報提供や調理体験を通してコミュニケーションの大切さを感じました。
- 調理の現場において、学校で習ったことと実際の現場を見るのでは、感じ方が違いました。学校では、病態に合わせた献立や食事形態を詳しく学びました。病院実習では、それに加えていかに効率よく食事が提供できるか、ということも考えなくてはならないということがわかりました。
- 現場（調理）は動きがとてもスムーズで衛生管理にもとても気を配られていました。
- 調理作業場では朝食の片付けや掃除、食器洗浄から調理や盛付まで色々な体験をさせてもらえ、調理作業の流れや人それぞれの役割分担などを把握することができました。
- 実習で大切だと思ったことは挨拶で、管理栄養士、調理師の方々だけでなく、病院や老健のスタッフ、患者様など全ての人に対して笑顔で挨拶をしっかり行う事の重要性を改めて感じた。
- 献立作成では、担当の管理栄養士の先生に何度もチェックしていただきながら病院に合った献立を学べた。後半の臨床では自分達で献立を作成し、栄養補助食としてゼリーを実際に作らせていただきました。NSTに依頼された方の食事でしたので、普段の調理とは違い、非常に緊張しました。
- 離乳食の献立の媒体作りは、とても面白く勉強になり、達成感を味わうことができました。
- 調理・盛り付け業務、さまざまな勉強会、教室に参加させていただき、医療スタッフの方や患者様とのコミュニケーションのとり方について学ぶことができました。
- 食札管理や発注業務、検収業務など食数や形態などの細かいところまでできたのも良かったです。
- 栄養管理科だけでなく、薬剤科や中央検査科、放射診断科、リハビリ訓練科、相談室やシステム管理課、ICU、救急救命室など多くの部署で業務の説明をして頂き、病院そのものが良くわかりました。
- 嚥下食は見た目が美しく見えるように工夫するだけでなく、食材を個別にミキサーすることで、味が分かるようにも工夫されていた。
- 常食でも、粥食やパン食を提供したり、とろみをつけてみたりと形態を調節したり、病態などを合わせた特別食でも同じような形態調節を行ったりと個人対応のとり方を理解することができた。
- 中心温度や保存食の保管なども実際にやらせてもらった。
- オードブルは、一緒に病院実習に行った人と考えて作成を行なったため、話し合いをよくし、喜んでもらえる食事提供を目指しました。
- 検食を毎日させていただき、良い体験ができた。病院の食事は美味しくないと思っていたが、味付けもしっかりしており、量も十分ありとても美味しかった。
- 御飯の乾燥したのもも危険物として扱われることをしり、御飯の盛る時間も考えなければいけないことがわかった。
- 委託会社とセンター管理栄養士のディスカッションを近くで聞くことができたので、両者の関わり方について知ることができた。
- オーダリングシステムについて、食札印刷開始時刻を感じ取ることで、オーダー締め切り時間や締め切り後の電話対応などを知ることができた。
- 調乳という、ほかでは体験できないことが出来てよかったです。
- お昼の配膳前に、点検をする仕事があり常食から糖尿食や潰瘍食などへの展開を実際に紙の上と目で見て確認することができ、とても勉強になりました。
- 配膳車についたプレートに食事指示箋の指示をテープで貼り付けたものと、献立と、形態調節の食数の書かれたプレートを参考に配膳ミスのないように何度の確認も行なわれている念の入れ方が必要なことが分かった。

2. 施設・指導者

- ・指導者は親切に色々教えて下さったし、管理栄養士の先生と調理師さんも仲が良かったのでとても良かった。
- ・管理栄養士の先生、調理師さん、パートさん含め、みなさんとても親切に接して下さいました。
- ・調理師さん（パートの方も含め）もみんな楽しい方で、よく話しかけてきてくれました。
- ・指導に当たっていただいた管理栄養士の方は、給食における病院と委託の関係や、病院での栄養部の役割、食事の重要性などを時間の許す限りとても詳しく教えてくれた。
- ・食材を安く仕入れる方法を教えていただき、勉強になりました。
- ・毎日1時間程度合間を見て、栄養管理・給食管理についての説明をしていただきました。
- ・厨房内の実習では、残食処理、食器洗浄、掃除、仕込み、盛り付けなど一通り体験させていただき、全体の流れを知ることができました。
- ・地域性を強く感じる病院だった。冷凍食品が好まれないことや、地産地消の重要性を強く感じた。

3. 感想・反省

- ・食材出しでは、調理する側のやりやすさを考慮して行なうことが、作業の効率化に繋がっていると思いました。
- ・食品の検収や翌日の食事に必要な食材を計量したり冷蔵庫から出してきたりする仕事も体験させてもらいましたがやはり大量調理施設だけあって一日分の食材でもかなりの量になるので毎日行うことは、非常に大変なことだと感じました。
- ・病院実習では、現場の作業を学ぶことも多かったので、時間に追われながら大量調理を上手く行っていく工夫を学び、とても良い勉強をしたと思う。
- ・厨房調理は、一人一人が責任を持って行動しなければ、円滑に食事が提供されないことを感じました。
- ・献立作成では実習で作成したものとは異なり、実際に現場で提供するときの献立の工夫や、出すのが難しい食材等について学ぶことができてよかった。
- ・管理栄養士として働く上で、調理師さんとのコミュニケーションはとても重要なものだと実感した。

特定給食施設で実習を終えた学生の声

特定給食施設（病院を除く）での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

1. 全般

- ・ とても良い経験になった。1度に大量の野菜を切ることができるので、包丁を上手く使いこなせるようになったし、自分でもうまくなったと思う。
- ・ 学校での実習と違い実際の現場での作業は大変で身を持って体験できて良かった。
- ・ 実際に調理にかかるまでの入札から発注までの業務内容も教えていただき、また、行うにあたっての注意事項や苦勞する点など裏話も聞いたのでとても勉強になった。
- ・ 献立を考えるだけでなく、実際に調理場に行って味見をしながら指導を行っていたし、入札における試食でも訪れた人に説明しながら会を進めているのを見て管理栄養士の仕事って大変だなと思った。
- ・ 実習生が一度に7人で、少し多すぎると感じました。来年度はせめて5人くらいで行かないと、何をやるにも大人数でやりづらいと思います。
- ・ 五日間楽しく実習を行うことができたので、よかったです。
- ・ 献立を立てるのに、3ヶ月後の献立を立て、完成させていることを知り勉強になりました。
- ・ 主に調理業務で、食材の下処理や大きな回転釜などを利用した調理をした。与えられた仕事を黙々とやりすぎてしまい、せっかくの臨地実習が有効にできなかった気がする。
- ・ 今まで、疾病者対象のリーフレットは学校の実習でたくさん作ってきましたが、健常者対象のリーフレットはほとんど作ったことがなかったので、よい経験になりました。
- ・ 調理員さんの調理技術の高さはとても素晴らしいと思いました。何をやるにもやはり経験が必要だということがわかりました。
- ・ 裁断を手伝わせていただいたとき、とてもすごい量なのになるべく手作業でということで、野菜なども手で切っていたことにも驚きました。
- ・ 調理場では雰囲気がよく、調理師の方々が実習生に気軽に話しかけてくれたので作業が非常にやりやすかった。あまり緊張せず落ち着いて作業できた。
- ・ 自衛隊の管理栄養士は大変だと思うが、やってみたくはかなり興味をもてた。
- ・ 勉強不足で、油の種類がわからなかったり、食材1個あたりの重さがわからなかったりした。
- ・ 隊員の皆さんは、毎日3食自衛隊内で食べる人が多いので、飽きないようにメニューが工夫されていた。
- ・ 食堂には、体験コーナーといったBMIが簡単に測れるものや、体脂肪の重さを実際に体験できるといったものが作ってあり、栄養教育に役立っていた。
- ・ 管理栄養士として、上に立って指示を出すには、多くの経験と知識がなければできないことを学び日頃から、いろいろなことに興味を持ち、知識を増やしていこうと思った。
- ・ おいしさやバランス良く食事を提供したいと思う反面、コストなどさまざまな問題があり、理想と現実は違うということを感じました。
- ・ 自分の無力さや行動の遅さを痛感した。安全に注意しながら時間通りに食事を提供することが一番の目標であり、その中で手早くきれいに盛り付け、適温の食事を提供することを教わった。
- ・ 保存食の倉庫見学や食品入札の際の試食など実際に体験させてもらった。

- ・入札のための試食では私たちの意見も取り入れて下さった。
- ・最終日にカレーを私たちが作り、管理栄養士の先生や、隊員の方に美味しかったと言って頂けたときはすごく嬉しかった。

2. 施設・指導者

- ・指導者の方々は、常に詳しく、わかりやすく説明して下さり、また、質問をする場も多くとても親切にしてくださりました。
- ・調理長の先生は裁断作業の際、包丁の使い方についてアドバイスして下さりとても細かいところまで指導していただき勉強になった。
- ・糧食班の班長をはじめ隊員の方々が優しく実習生の意見を多く取り入れてくれた。
- ・アンケートではこちら側の事情を知らずに好き勝手に文句や指摘が書かれていたことにショックだった。
- ・管理栄養士の方に空き時間に色々なお話をして頂きとてもためになった。将来自分が管理栄養士になった時に参考になるお話をたくさんしてくださった。
- ・調理作業や味付けを任せてくれたりした事がとてもいい体験だった。
- ・色々な大量調理器具・機械を使用させてもらえた。
- ・管理栄養士の先生にお話を伺うことができ、学校で勉強してきた大量調理の知識との違いに少し戸惑いしましたが、予算や時間の問題など、学校では学べない実態を学ぶことができとても勉強になりました。
- ・調理員の方々もとても親切に教えてくださったので、楽しく実習期間を過ごすことができました。
- ・裁断では、玉ねぎの涙が出なくなる切り方などコツも教えていただき嬉しかった。実際に横で手本を見せてくれたので分かりやすかった。
- ・どの先生もわかりやすく親切に教えていただいた。
- ・質問にも詳しく答えてくれたのでありがたかった。
- ・厨房の概要や検収の実際を説明して下さり、献立表を見せていただきました。調理に関しては、糧食班の隊員の方々がとても親切に指導していただきました。
- ・作業として、仕込みのときならもう少し裁断などをしたかったです。あまり欲張りなことは言えませんが、いろいろな作業を本当に少しずつやった、という感じでしたので、一つ一つについてあまり理解出来なかったのではないかと思います。

3. 大量調理

- ・今回の自衛隊の実習で大量調理は肉体労働であるのだと感じました。
- ・一回で約 500 人もの料理を作るのは、大変で調味料でさえ多くの量を使用することに驚きました。
- ・大量調理にもかかわらず、献立の内容が豪華でとてもおいしかった。旬、行事、誕生日、郷土料理などを採り入れていた。
- ・毎食 1500 食以上を作るのに、厨房内で働いている人は 20 人くらいで、皆さんがあわてることもなくいつも余裕を持って作り終わっていたことにも驚きました。
- ・初めて使用する器具や機材があり、見たこともないほど大量の食材を調理し、非常に体力がいる実習だったけれど、とても楽しい実習だった。
- ・大量調理を決められた人数で行うため、作業効率をよくする方法を学ぶことができた。

保健施設で実習を終えた学生の声

保健施設での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

1. 全般

- ・ 毎日違う内容が盛りだくさんで本当に楽しい実習で、とても勉強になりました。
- ・ 管理栄養士だけでなく、育児相談や、虫歯予防教室で保健師の方や歯科衛生士の方の仕事を見ることができ、良かったです。
- ・ 日々勉強で、学校で習った知識だけではこなして行けないので、就職してからも勉強していかなければならないと思いました。
- ・ 区や市の管理栄養士の必要性を強く感じ、管理栄養士を目指す者として考えさせられることも多く、そしてやりがいも強く感じ、行政の管理栄養士への憧れも出来ました。
- ・ 他業種の方々との連携を図ることが大切だと感じた。
- ・ 健康相談や両親学級といった事業に参加でき貴重な体験ができました。
- ・ 健康相談を通して、人それぞれに事情があり、それに応じた栄養のアドバイスをすることが大事だと感じました。また、お話を伺う場面では学校でのカウンセリングの授業がとても役に立ったと思います。
- ・ 言語リハビリでは、太鼓をたたいたり、歌を歌ったり、ちちぶ音頭など、コミュニケーションをとりながらの進行なので、仲良くなることができ、喜んでもらえた。
- ・ 乳幼児から高齢者まで、あらゆるライフステージの方々とコミュニケーションをとる機会をたくさん設けていただいたので、いい経験ができた。
- ・ 健康推進事業、生活習慣病予防、介護予防などで、意識を持ってもらい、行動変容につなげるような、教室が多かった。
- ・ 保健センターは乳幼児と病気になりそうな成人を対象に活動しているものと思っていたので、自殺や病院に入院するような統合神経失調症の方などを対象に活動をしているのを初めて知り、職員の活動が幅広い物だという事を知った。
- ・ 保健センターの仕事において、ここで良いという到達点はなく、いくらでも上を目指せるやりがいのある職場に思えた。
- ・ 3歳児健診では、問診・栄養相談・栄養教室を横で聞くことができ、実際の栄養指導の仕方、お子さんとの接し方を見学でき、とても勉強になった。
- ・ 保健センターがこんなにも町の人々の健康の維持増進に関わっているとは思っていなかった。
- ・ 一般の方々に栄養教育をする機会は初めてでしたので、実際の栄養教育がどのように行えばいいのか、工夫点などについて学べたのでとてもよかったです。

2. 施設・指導者

- ・ 学校では、先生方以外の管理栄養士の先生と接する機会がなかったので、事業内容や、実際の管理栄養士としての仕事について、色々な質問に答えて頂き、いい機会でした。
- ・ 管理栄養士の先生は、とても良い方で、色々なことを教えて頂きました。
- ・ ファットサルクラブといった内臓脂肪対策やソーシャルクラブといった精神疾患をもった人々の社

会復帰対策など、進んで区民の健康を考えるための対策を行っている、とても良い施設でした。

- ・ 3歳児健診後の会議では皆さんの情報を交換しあっていた。細かい点まで話していたので、すごく勉強になった。
- ・ 最終日に指導者の先生の公衆栄養についての考え方や管理栄養士のあり方についてのお話があり、よかったです。
- ・ 担当の先生がとても熱心にご指導下さり、保健センターの事業以外でも、管理栄養士としての心構え等を教えていただき、大変感銘を受けました。
- ・ 管理栄養士の先生方はそれぞれの話を聞き出し、生活や家族構成など一人一人の環境にあった適切なアドバイスを各方面から行っていました。

3. 反省点

- ・ 実際に栄養相談を行わせてもらったのですが、分かりやすく話そうと思うのですが初めは、言葉にならなかつたり迷ったりしました。そのことにより、知識をただ蓄えていくだけでなく、相手に分かりやすく言葉にできなくてはならないと思いました。
- ・ 仕事の幅が広く、コミュニケーション力が問われた。
- ・ 発注も自分たちで行ったので、調理や発注など、給食に関わる勉強をもっとしておけばよかったと感じた。
- ・ 母子保健事業などが多く、母子に対する勉強不足を感じました。
- ・ 今回は、初日にオリエンテーションでしたが、事前訪問をして、オリエンテーションを受けた上で、実習に望めると、持ち物や課題、事業内容について前もって分かるので、きちんと用意ができてよかったかと思います。
- ・ 調理についての知識、調理技術、給食管理的な能力が強く求められることが多くありました。
- ・ 調理ができるというのが大前提なことを思い知らされました。料理のほうも頑張ってできるようにしていきます。

薬局で実習を終えた学生の声

薬局での実習終了後の感想文の中から、代表的なコメントを抜粋し、その概略をまとめた。

1. 全般

- ・ みなさんとても優しくやはりお客様にとっていいお店は、内から良いお店だと感じました。
- ・ 薬局では薬剤師の先生や管理栄養士の先生以外にも、メディカルパートナーの先生方にも質問をすることができた。皆、時間の空いているときに質問した事項は全て丁寧にわかりやすく教えてくださった。常に私の理解度を確認しながらいろいろと話を付け加えながら教えてくださり、毎日感謝の気持ちで一杯だった。
- ・ 薬局だけでなく、介護ショップとドラッグストアも見学でき、色々な職種の方と触れ合えました。
- ・ 本社の方を始め、薬局長、薬剤師の先生、管理栄養士の先生、メディカルパートナーの先生方は皆親切で優しく、温かく迎え入れて下さった。緊張している中でこのように迎え入れて下さったことは、精神的にかなりの支えになり、すぐに本来の自分を取り戻すことができ、有意義な時間を過ごすことができた。
- ・ 薬局実習を通して、管理栄養士が調剤薬局で何ができるのか改めて考える場となり、大変有意義な実習であったと思います。薬局実習を選択して良かったです。
- ・ 今回は、調剤室でずっと実習を行っていたので調剤の流れを知ることができ、二度とできない貴重な体験をすることができました。
- ・ 調剤など様々な薬剤師の仕事を体験させていただいた。
- ・ 調剤室で処方箋をもとに薬を選んだり、軟膏を混ぜたりする作業を行わせていただいたので貴重な経験をすることができた。
- ・ この薬局実習では、毎日がイベントのようで新しい発見が一杯でした。就職先が薬局ということもあり、調剤の流れやレセコンの入力方法、患者様との接し方など薬局の業務内容・求められていること・目標を考えられることができ良かったと思いました。
- ・ あっという間に1週間が経ち、振り返るとその内容は濃く、調剤という、今後携わることのできない事や、在宅訪問、施設見学と、とても充実した毎日を送らせて頂きました。今回の体験が今後、医療に関わる上で活かせられたらと思います。
- ・ 今回の実習では資料の作成やお客様との接し方、薬についての再確認などさまざまな事項を学ぶ事が出来ました。とても充実した1週間でした。
- ・ 様々な体験をさせていただき、思いも寄らない視点からの質問をされ、これからどのような知識が必要なのかを気付かせてもらいました。大変有意義な5日間の実習になったと心から思います。
- ・ 実習の内容については、処方箋の情報をパソコンに入力するところから薬を出すことまでやらせていただいてとてもよい経験になりました。調剤のやり方も見学させていただいて勉強になったし、全体的に自分で満足できた内容の実習になりました。
- ・ 将来、薬局やドラッグストアで働きたいと考えている私にとって、大変貴重であり、自分の勉強不足が伺える充実した実習でした。
- ・ この、春休みで3月の最初、全ての実習の前に実習にいけて幸運だったと思う。やはり、実習の与える影響は大きい。将来の方向性や就職活動への考え方にも影響する。働いている人の意見は、努力次第で多く聞けるとは思うが、実習にきたからには何かを学び、何かを教えたいという双方の意

識が高まるので、非常に学びやすい環境にある。薬局や栄養といった医療の枠にとどまらず、ビジネスの話もたくさんきけるので、学校にはない面白さがあったと思う。

- 薬局に関わらず、医療という職種ならば相手は人間なので、コミュニケーションや思いやりの大切さも改めて学べる事ができた良い機会にもなりました。
- 事務的な作業だけでなく、人との関わり方などの社会勉強もできて良かったと思います。
- 最初に挨拶の仕方、言葉遣いなどを学び今回の実習だけでなく、今後生活していく上で大切なことが学べ良い経験ができたと思いました。
- 礼儀を徹底した薬局であったが、今後の社会生活において役に立つ貴重な経験をさせてもらったように思う。
- 保険制度、薬剤師の歴史、点数の付け方などの講義をして頂き、概要を知ることができました。
- 医療保険制度や医薬品の相互作用など講義をうけることができたので、今まで知らなかった知識や足りなかった部分の知識を補えたのでよかった。
- 調剤業務や医療保険等、薬剤師に関する事は細かく説明して頂いたので理解が深まった。
- 薬局やドラッグストアでは店内にある雑貨などの知識もないといけないと思いました。
- ドラッグストアではお客さんに商品の場所について聞かれることが多く、忙しかった。
- 普段講義などでも知ることのできない業務内容（調剤薬局の現状とこれから、品質管理の活動などについて）を講義を通して知ることができ、とても勉強になりました。
- 現在の日本の医療経済の状況が危険だということを改めて講義を聴いて、実感した。
- 内容については、実習書の概要の全てについて説明をしていただいたのでとても満足しています。
- 当学科では薬学の教育もされているので、薬剤師とのコミュニケーションが図りやすいように感じ、管理栄養士への薬学教育の意義を感じました。さらに、薬剤師とのコミュニケーションが図りやすいので、ドラッグストアにおいてもチームを組んで、それぞれの専門領域を共有していくことで、新たな発見などもありました。
- 薬局においても、薬剤師と管理栄養士の知識を合わせればとてもすごいことができるのではないかと思います。合わせることで、患者様にも最高の対応をする事ができ他の薬局との差別化にもつながっていくと思います。
- 薬剤師の仕事さえあまり理解できていなかったのが、薬局での管理栄養士の仕事は想像があまりつかなかった。実習を通して薬剤師の業務や管理栄養士とのかかわりについて理解がとても深まったので、薬局実習を選択して本当に良かったと思う。薬局に興味は全く無かったが、将来一度は働いてみたいと思った。
- 処方薬からの疾患名の推察や薬物と食事の相互作用を理解できることで管理栄養士と薬剤師の連携が成り立つと感じた。
- 客としてではなく店員としてお店を見ることができ、普段気づかないことにも気づくことが出来た。
- 調剤薬局という、普段なら利用する立場の所に行ってみて、薬局に対する考えが変わった。
- 裏方の作業が多かったがその作業を行う意味を一つ一つ教えて下さったのでやりやすかった。
- 指導者の方々は、無理な要求にも応えてくれ、短い時間の中で仕事の意義などを話してくれた。
- 白衣の力は相当強く、白衣を着ているだけで何でも解っていると思われてしまうことがほとんどで大変だった。
- 白衣を着て実習をしたので、薬剤師に間違われることが多く、薬局では薬についてわかっていないと全然ダメなことがわかった。
-

- ・管理栄養士の先生方の仕事を体験させていただき、栄養指導などの仕事も拝見させていただいたので、薬局での管理栄養士の業務について理解することができた。
- ・実際に栄養相談に来る患者様の相談内容・訴えなどどのようなことを知りたがっているのかを知ることができた。
- ・病院とは違った目線での管理栄養士の業務を、実際に自分の目で見て経験できたので良かった。
- ・仮にも薬学部で3年間学んできたのに、薬の一般名等ほとんど分からなかった。また、中途半端な知識しかなく、薬剤師の先生に向かって薬について知っているとはとても言えなかった。丸暗記でなく理解することが大事だと痛感した。
- ・処方箋の薬名を見ても何の病気か良くわからず、自分の勉強不足さを痛感した。
- ・特定保健用食品など、一般食品と医薬品の中間となるような食品がドラッグストアには多く存在しており、消費者の方が使い方を誤らないよう正しい情報を提供する場として、ドラッグストアというものも良い場所の1つだと思いました。
- ・ドラッグストアは地域における「よろず相談所」になっており、様々な健康に関する相談があり、管理栄養士への食事や栄養・健康に関する相談窓口としても最も有効な場の1つだと思いました。
- ・今回の実習では品出しや前出し作業が中心でしたが、ドラッグストアで働く上では、これらの作業も大切な仕事の一部でありお客様のために繋がることを改めて感じました。
- ・大学の实習などで行っている模擬の栄養指導では、客観的な情報は分かるが、個人対応ができる段階まで達していないことが分かった。実際の栄養指導を見学して患者様の理解度、やる気を含め主観的な情報の方が大切だということに気が付いた。
- ・栄養指導時には、栄養素の不足、過剰の問題点を患者様の普段の献立に応用させ、目標を簡単に、具体的にしないと患者様が実行に移すことが難しいと感じた。
- ・患者情報の管理の仕方がわかった。(パソコンを使った管理、SOAP、既往歴、他科受診、併用薬など)
- ・SOAPのより良い書き方を学びました。
- ・薬局実習を通して、改めて薬と食品の関わりの大切さを理解することができ、相互作用などについてさらに知識を深めていきたいと思いました。
- ・サプリメントや健康食品が多くあり、需要を知ることができた。またどのような商品があるのかも知ることができた。お客様はテレビや雑誌からいろいろな情報をお持ちだったので管理栄養士は正しい知識と使い方の指導に努めなければいけないと感じた。
- ・調剤薬局での業務にとっても心惹かれました。
- ・お客様には誠意をもって対応することが大切だと思った
- ・栄養部の業務はあまり無い店舗に行ったのですが、店長に「管理栄養士を置いている店舗ではこういう仕事をしている」という話をきかせてもらった。様々な話を伺うためにも積極性が大事だと感じました。
- ・患者様とのコミュニケーションを学ぶことができました。
- ・情報源が多くないので実習先が発表されてからすぐに薬局における管理栄養士業務や管理栄養士をとりまく環境など調べておくとさらに実習が有意義になると思います。
- ・老人施設に定期で届ける薬が多かったため、飲み間違えないように数種類の錠剤を朝、昼、夜に分けて分封する作業はとても大切なことだと思いました。薬の種類も多いし量も1錠、2錠、半錠などそれぞれに違って間違えたら大変だと思い慎重にやりました。
- ・調剤の仕事は直接患者様の手に渡るものなので常に気を配ってしなければならない仕事ということが今回の実習を通して良くわかった。

- ・常にアンテナを張った状態で新しい情報を手に入れて、その情報を吟味し、固定観念など偏った考えを持ってはいけないと思いました。
- ・当学科での生活習慣病治療薬の知識がとても役に立ったので、当学科の意義も改めて感じました。
- ・自分の意見が求められることが多くありましたが、うまく伝えるのは難しいと感じました。
- ・卒業研究や就活等で忙しいですが、薬物関連の科目を初めとした今までの科目を復習し、総合的に考える力を求められました。
- ・何事においてもお客様の立場で、こうされたら嬉しい、親切なところだ、いつでも気軽に来店できるということを頭に置き、行動する大切さを学んだ。
- ・接客の際に薬を薦めるだけでなく、お客様の日ごろの食生活など、もっと話を聞ければよかったと感じた。
- ・知識もかなり大事だと思うが、それ以上にお客様から求められているものをいかに感じとり、接することが重要だと思う。
- ・予防から治療までの薬の種類を把握することの必要性を理解できた。
- ・商品説明をする媒体の「ポップ」の書き方などをご指導いただき、栄養指導など人に何かを伝える立場の管理栄養士にとっても必要な技術の一つだと思いました。
- ・実習中、微量栄養素について要約して発表する機会を設けていただきましたが、栄養や、薬学について学んでいないパートの方には分かりにくいようでした。一般の方に分かりやすく、興味をもってもらえるように説明するのはもっと工夫する必要があると感じました。
- ・今回の実習で一番感じた事は、今まで講義の中でしか聞いたことがなかった薬物名やOTC類の名前、食と薬の関係などを生で体験できたことでした。
- ・僕自身の勉強不足が原因で何の薬なのか分からない事も多々ありましたが、地域に密着する調剤薬局という場所にさらに興味が湧きました。
- ・講義では薬局のことだけではなく、医療業界全体の流れや社会の動向について幅広く教えてくださった。管理栄養士はどうあるべきかを考えさせられた。国家試験のような質問をポンポンと投げかけられ、管理栄養士のタマゴにも関わらず勉強不足で薬剤師の先生よりも全然知識が足りなく、とても恥ずかしい思いをした。城西大学の学生はこんなもんかと思われていると思ったら、先輩たちの顔に泥をぬってしまった様な気持ちになり申し訳ないと思った。
- ・嚥下困難な方のために錠剤を潰したり、カプセルの中身を出したりする作業も食事をミキサーにかけたり刻んだりする作業と同じで大切なことだと思いました。
- ・数種の疾病が重なっている患者様に対する食事療養の難しさを感じた。
- ・栄養相談の際、一人暮らしのお年寄りへの対処はやはり難しいと感じました。
- ・特殊食品や機能性食品などの商品について質問される方や、立ち寄ってお話にいらっしゃる方などが多いとのことでしたので、それをきっかけ栄養指導や栄養の啓発活動ができるように感じ、その機会を大切にすべきであると考えました。
- ・実際の栄養相談は、思っていたよりも患者様お一人お一人のペースに合わせて行わなくては行けなく、見極めには豊富な経験が必要であると感じました。
- ・調剤部にアルバイトで来ていた大学生に、経管栄養を含む栄養についての勉強をしたいと言われました。その方は、医師と薬剤師が集まって行う勉強会に出席した時に、医師に栄養のことを聞かれ、答えることができなかつたそうです。今は栄養の知識が医療の場で重要になっていると感じました。

2. 施設・指導者

- 管理栄養士の入る薬局ではなかったのですが、管理薬剤師の先生が『薬よりも食事』という考え方でいらっしゃいました。これからの管理栄養士の役割が幅広いことをとても感じました。
- ドラッグストアでは、まだあまり管理栄養士を求めているというのが現状であると分かり残念に思いましたが、その必要性を伝えるのも私たちの役目であると感じました。あと数年経つと必ず必要とされる時が来ると思うのでそのときには、時代のニーズに応えられる管理栄養士として活躍したいです。
- 調剤薬局で管理栄養士が活躍するには、自分達自らが動かなければならいと感じた実習だった。
- 栄養についての説明は見る事がなかったが、併用薬としてサプリメントをあげる人がいたため、こういうところで管理栄養士としての知識が使えるれば良いと思った。
- 薬剤師の先生が、薬局管理栄養士の必要性について肯定的な考えを持たれている方が想像していた以上に多いことを知ることができた。
- 管理栄養士の活躍の場があるということも確認できとても充実していたと思います。
- 今回の薬局には、管理栄養士の方がいなかったため、薬局における栄養指導のやり方はよくわかりませんでした。
- 実際に管理栄養士の方がいる施設でその業務について学んでみたかったという気持ちもあり、栄養指導について、もっと学べたら良かったと思います。
- 大学の講義では紙上の勉強が主であるので、実際に患者役・管理栄養士役のロールプレイをさせていただいた際に思うようなことが話せず、専門知識だけではなく、人との対話をする力がとても重要だと実感しました。
- 薬局内での仕事は、調剤薬局での業務を知るため勉強になりました。薬剤師としての目の気配り、失敗・間違いの許されない作業、患者様とのコミュニケーションのとり方は管理栄養士もあてはまると考える。
- 多くの患者様に栄養相談をさせていただき、とても良い経験が出来た。疾病の食事療法に関する知識も再確認することが出来、また、患者様とのコミュニケーションのとり方についても学ぶことが出来た。
- 特に感動してしまったのが、患者様とのちょっとした会話の中から患者様の生活の様子をうかがったりして患者様の悩みや問題点を見つけ出していたのがすごいと思いました。
- お客様や患者様とのコミュニケーションはドラッグストアという気軽に話やすい環境のせいも、積極的に行えたと思う。
- 在宅訪問などで、患者様の栄養指導も見ることができてとても良かった。
- 糖尿病の指導を実際に見せていただき、学校で習うようなマニュアル的な話し方は実際には通用しないと痛感しました。
- 将来は、人（お客様、患者様）を相手とすることになるので、今回の実習で黒酢の試飲販売やサプリメントのアドバイスなどを通して接客の基本を学ぶことができてよかったです。
- ラウンドに出ている時も販売している商品について栄養相談にいらした方の記録もを見せていただき、どんな方でどういう疾患で栄養指導としてはこんなことをしていると詳しく教えて頂きました。また、先生方が感じていることや気をつけていることも話してくれたのでとても勉強になりました。
- 栄養指導において検査値を患者様に分かりやすく伝える方法などを教えてもらったので良かった。
- 患者様に説明する際の注意点（話し方・分かりやすい比喻等）を学ぶ事ができました。
- 栄養相談などの業務は触れられなかったが、お客様とのちょっとした会話の中で薬の飲み方や栄養

状態などを聞き出すという技術を学び、実際に行うことが出来た。

- ・ 薬局内での仕事は、調剤薬局での業務を知るためのとてもよい勉強になりました。薬剤師としての細かいところまでの目の気配り、失敗・間違いの許されない作業、患者様とのコミュニケーションのとり方にはとても驚きました。
- ・ 薬局業務の見学では、業務の流れや気をつけていること等詳しく説明して頂いてとても勉強になりました。受付業務をさせて頂いた時は、患者様と触れ合う時間が持て、充実した時間となりました。
- ・ 調剤薬局では調剤補佐的なこともさせて頂いて、実際の現場での業務に触れることができよかった。
- ・ 今回は、調剤室でずっと実習を行っていたので調剤の流れを知ることができ、二度とできない貴重な体験をすることができました。
- ・ 調剤室で処方箋をもとに薬を選んだり、軟膏を混ぜたりする作業を行わせていただいたので貴重な経験をすることができた。
- ・ 処方箋をみてパソコンに打ち込み、情報や薬袋を印刷して薬を棚から探して数えて袋に入れるという一連の作業も体験させていただき、調剤の流れを理解することができました。
- ・ 調剤室を実際に見学しながら調剤の流れを学ぶことができたので、調剤室の取り違いを減らす工夫や患者様の待ち時間が減るような工夫がなされていることを細かく知ることができました。
- ・ 初日は本社で一日講義があり、会社の目標や方針、調剤の流れ、薬剤師の仕事について学ぶことができ、実際にすぐ現場に入ったときにひとつひとつ確認することができ、紙面上で学んだこと体験が結びつき、とてもわかりやすかった。
- ・ 栄養指導のロールプレイを行って指摘を受けた事により、自分の指導方法の傾向がわかりました。学校での生徒同士で行うものとの違いを感じました。
- ・ 患者様の処方箋を見ながらプレゼンテーションするために、薬のことを調べたので、知識を増やすことができました。
- ・ 管理栄養士の方と栄養指導の練習をさせて頂きました。内容は高尿酸血症と糖尿病についてで、知識があるつもりでも実際に指導してみると患者様の質問に答えられませんでした。自信がない答えばかりになってしまいました。勉強不足だと思いました。
- ・ ケーススタディで、さまざまな患者様について学び、それぞれの患者様の背景を考えながら栄養指導の内容を考えることができるようになったのでよかった。
- ・ 珍しく、わたしは初日に来店された方の栄養相談について、最終日にお話させて頂く機会を戴きました。あくまで参考を前提としてのお話でしたが、実際に患者様の役に立てるとというのは、大学での実習と責任感も大分違い、とても新鮮な感覚でとても楽しかったです。
- ・ 市販されている風邪薬の代表的な新薬から漢方薬まで細かく教えてもらいました。
- ・ 食物アレルギーに禁忌である薬の種類を教えてくださいました。
- ・ 薬剤師の先生が処方箋の薬について説明してくれて大変ためになった。
- ・ 色々な店舗へ行き、それぞれの店舗で栄養指導を見せていただき、病院とは違う栄養指導が見られて大変勉強になりました。薬剤師の先生が質問に答えてくださり、調剤室の中を説明していただけて良かったです。また、漢方薬局にも連れて行っていただき、大変面白かった。
- ・ 毎日異なる薬局を見学させて頂いたので、色々なタイプの薬局を知ることができた。
- ・ 半日、薬を届けている老人ホームで実習をさせて頂きました。初めは何をしていいかわからずと感ってしまいましたが、老人の方々と触れ合ったり食事を一緒に食べたりすることができ、とても貴重な体験をすることができました。

- ・ ドラッグストア内の商品陳列についても説明を聞き、実際に棚を作らせていただいた。「どの商品を売りたいのか」「その商品が求められているか」この2つを両立させる苦労も学んだ一方で、決まりもある程度あることを学びました。
- ・ 薬や栄養のことだけでなく、商品の配置や経営するための基本なども教わりました。
- ・ 商品の配列の仕方など、学校では学べないこともいろいろ教えてもらえてすごく勉強になることばかりだった。
- ・ 献立の課題が出され、実習先の先生に対して分かるように説明しなければならず、そうすることで、患者様に対してどのようにしたら分かりやすく実行しやすい献立ができるか考えることができた。
- ・ 薬局実習中、調剤業務を見学し、課題として症例の患者様に献立を立て、その内容について薬剤師の先生の質問に答えるなど大変でしたがとても充実した1週間だと思います。
- ・ 宿題になっていたメニューやパートさんや店長さんからの質問の紙についてなのですが、自分の知識でできない部分もあったし正直なところ初めはめんどくさいかと思っていました。けれど、今思うと知らなかったことを知ることができこれから先役立つことでもあったので、この宿題を出していただいてよかったと思っています。勉強になりました。こういった宿題は出した方が勉強にもなるし、実習生のためにもなるので続けた方が良いと思います。
- ・ プレゼンの機会を与えて頂き良い経験になった。
- ・ 旬のメニューを実習中に作成し、実際に患者様にも配布してくださったので、メニューを作成したかいがあった。
- ・ インスリン勉強会では、追加インスリン分泌と基礎インスリン分泌の違い、速効型インスリン製剤と中間型インスリン製剤の違いについて何度も丁寧に説明して下さり、実際にインスリン注射をするところを見学することができ、商品を見ながら聞いたりしたので分かりやすく、記憶ではなく心に残るものでした。
- ・ 調剤薬局ということもあり、管理栄養士が多くかかわるであろう糖尿病の患者様に欠かすことのできないインスリン注射を実際に見学する機会があったので、少しでも患者様の立場に立って考えることができそうです。とてもいい体験をしました。
- ・ インスリン注射を実際に見学し、糖尿病患者様に対して理解が深まりました。
- ・ 店舗により、よく出る薬の種類も全然違い、患者様の年齢層も違いました。また、店舗の雰囲気、社員さんの雰囲気も全く違い、違う薬局かと思いました。
- ・ 曜日や時間帯、天気により患者様の数が異なることに気がついた。またこの季節に天気がよく暖かいと顕著に患者様が増えると思った。
- ・ 今回の実習の時期は、お店の忙しい時期と被ってしまったらしく、先生から直接色々教えてもらえる機会は少なかったけれど、教えてもらえる中で、その仕事をこなし、楽しむことが出来たので、すごくよい経験になりました。お客様に対しては、お辞儀と挨拶と笑顔、これに心掛けて行うこと。これを忘れず、これから働く上で生かして行きたいと思います。
- ・ 笑顔を絶やさず仕事をする皆さんがとても明るい雰囲気を出していたので、患者様もその笑顔に癒されているようでした。
- ・ 医療スタッフの一員としてのマナーなども説明していただいた。
- ・ 担当指導者の薬剤師の先生には、薬剤師の業務だけでなく、医療人としての心構えなどもご指導いただき、感銘を受けました。
- ・ 服薬指導での注意点だけでなく栄養相談の必要性などを薬歴に掲載することにより、患者様の情報を、どの人でもコンピューターですぐに把握することのできるシステムは素晴らしいと思いました。

- ・薬歴入力を中心に、どの職種の方でもできるような体制になっていて、連携した仕事のできる環境が作られていると感じました。
- ・眼科の門前だったので、学校で学んでいた生活習慣病などはなく、もっと簡単な健康食や栄養・民間療法等の知識が必要だと思った。
- ・忙しい日や忙しい時間も多々あるようでしたが、親切丁寧に様々なことを教えていただき、大変勉強になりました。主に調剤室でピッキングをさせていただいたのですがその中で調剤の流れ、薬剤師の業務内容、投薬指導の流れ、などを学びました。間近で見させていただき、体験させていただいたことで知らなかった多くの部分を知ることが出来たと思います。学ぶ中で知識の足りなさや学ぶ必要のある分野が見えました。これからの学習では、その反省を取り入れて足りない部分を補う勉強をしたいです。
- ・薬が調剤されている間の待ち時間を利用しての栄養相談ということで、患者様にとっては時間の有効活用になり、また的確なアドバイスをしてもらえるのはとても良いしくみだと思った。
- ・栄養相談などは、調剤の待ち時間や直接話しかけることによって出来ると思います。
- ・大学病院の前に調剤薬局があるので、患者様にとっては薬局も病院の一部であり、病院のスタッフと同じだけの責任感が求められているように感じた。
- ・一つだけ薬局という場所で気になった点が、薬局には栄養相談スペースといったモノがなかったもので、これがあれば気軽に身近に栄養相談ができる環境が作れるのではないかと思います。
- ・服薬指導の際に薬剤師の先生から、必要と認められる患者様に栄養相談を勧めるシステムは、普及のため良いものであると思いました。
- ・管理栄養士の先生方がそれぞれ違う考え方なので、いろんな観点からの考え方をお聞きすることができました。また、薬剤師の先生からもお話が聞けたのも貴重な体験でした。
- ・医療栄養学科の先輩が管理栄養士として勤めていたので、実習に関して、国家試験に関して、また学校に関してなど色々な話が聞くことができた。
- ・1週間という短い間でしたが、皆さんにとってもよくしていただき、学校では学べないことや気が付かなかったこと、働くということを学ばせて頂きました。学校の中からでは見えなかった管理栄養士の立場というものも臨地実習を通して知ることが出来たので、いい機会になったと思います。
- ・病院とは異なり、栄養指導では「減らす・なくす・控える」というマイナスの言葉を使わずに「とりすぎた分を野菜で増やす」といったプラスの言葉を用いていて、患者様にとって食事の制限をすることは難しく大変そうだと思っていただかないような言葉の使い方に感心しました。
- ・管理栄養士の先生方の栄養・食事に関する勉強熱意が凄く感じられた。
- ・医事課の先生による調剤報酬算定とレセプトの演習講義では、初めて体験したことでしたので最初は剤のまとめ方など混乱しましたが、一人一人丁寧に教えてくださったおかげで大枠はつかめ、貴重な体験であったと思います。
- ・実習最終日に見学させていただいた栄養指導に、今まで勉強してきたのはなんだったんだろうと思うぐらいとても感動してしまいました。
- ・こちらから質問することの方が多かったのですが、薬剤師の先生からも休憩時間や空き時間、最終日の課題発表後の質疑応答の時に食事と薬の関係などについて様々な質問を受け、薬剤師の先生も食事・栄養について興味があること、仕事をしていく上で栄養・食品の知識に対する必要性を感じてらっしゃるようだと感じました。実際、投薬指導をしている際等に食事に関する事を聞かれることもあるようです。ドラッグストアにも見学に行かせていただきましたが、白衣を着ていたためか質問をされたりすることもあり、お客さん、患者様自身が食事や健康食品についての知識を求め

ていること、健康について強く興味を持っていることを感じました。調剤とドラッグでは求められる知識は多少異なるようですが、多くの人が食に関して興味を持ち、健康であるための食事をしようと意識しているようであることを間近で感じる事が出来たことは大きな発見であり、これからの勉強の方向の動機付けとしてよいことだと思いました。

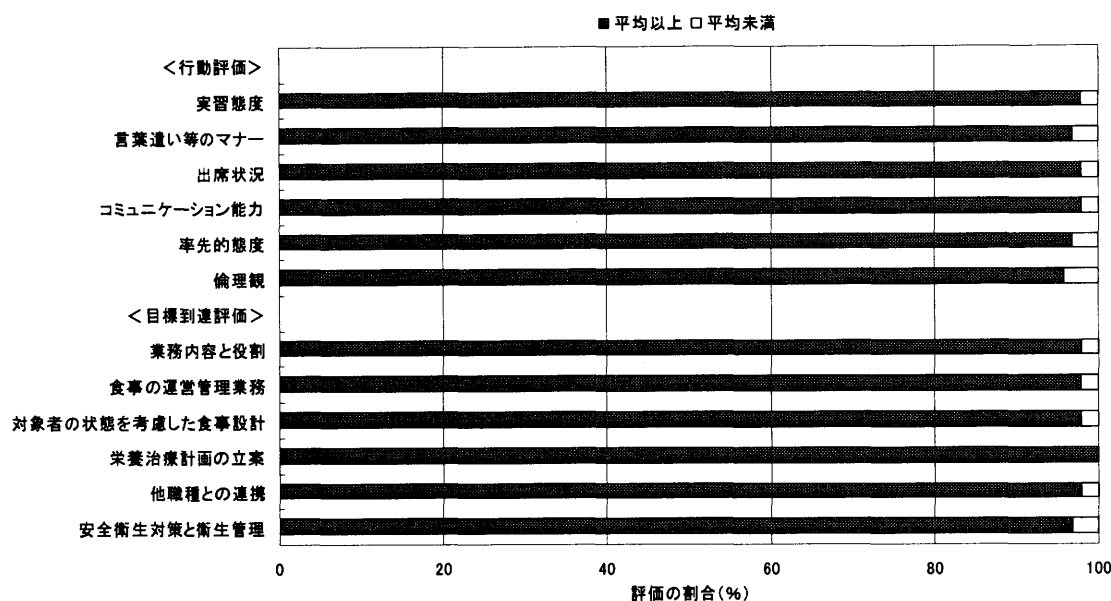
- 栄養指導をした患者様にリーフレットや治療食の献立をお渡ししたところ、大変喜んでいただき、とても嬉しかった。
- 最終日に行った栄養相談のシミュレーションと健康食品の試食が特に印象に残っています。シミュレーションでは高血圧と高脂血症について1症例ずつ行ったのですが、見るのとやるのでは全然違うし、学校の実習で1度やっていたよかったと思いました。ただ一方的に話すのではなく相手に合わせてできることから実行してもらうことが大切であることがよくわかりました。健康食品の試食は学校の実習で試食したときのあまりおいしくない印象しか記憶になかたったが、意外にも美味しいものもあり驚きました。
- 在宅訪問の際、初めて患者様本人から話を聞く機会を得て、とても緊張しました。学校でも実習で友人を相手に栄養指導をすることはありましたが、今回の相手は友人ではなく、相手はこちら側を栄養のプロだと思っています。そんな中で、話を聞いてその場で何か良いアドバイス等を言わなくてはならないという状況で、今の自分の実力を試され、そしてその実力を思い知らされました。

3. 商品

- お客様に商品について聞かれた時適切に答える事ができるための商品の理解と症状などに対する知識が必要だと思いました。
- OTCを行っている際にも新しい商品が出ており、指導してくださった先生はその商品についてよく見て調べていらっしゃいました。お客様に説明をする為に、全ての商品について知っていなければならず、また、どのような商品が今売れるのか、TVで何の商品が紹介されているのか、昼食時には新聞を読み、世間の動向をチェックする等、毎日新しい情報を得る為の勉強が必要であることを感じました。
- お客様が健康食品について関心を持っている方が多いので、種類、主な効能効果、摂取方法、選択方法などのサプリメントの知識も必要だと感じた。
- お客様にサプリメントのアドバイスをさせていただく機会がありましたが、各ビタミン・ミネラル類の働きが直ぐに出てきませんでした。現場では、知識として知っているだけでなく、それらのことを上手く使えなければ意味がないとわかりました。また、勉強不足であったと感じました。
- ドラッグストアなので、特定保健用食品や特別用途食品、サプリメントなどの商品を手にとって実際に学ぶことができ、とても勉強になりました。
- 並んでいる商品にはよく分からない成分のものもあり、ドラッグストアでは管理栄養士は普段から新しい成分や商品への対応が必要だと思いました。
- 健康食品には多くの種類が存在しており、私には分からないものも多くあったので、まだまだ勉強していかなければならないと痛感しました。
- ドラッグストアでは、健康食品（いわゆるトクホなど）・サプリメント・スポーツ用食品・ベビー用食品など予想以上に数多くの食品を取り扱っていることに驚きました。中には、医薬品に外見が近い物もあり、食品と薬の境界の曖昧さを多少感じました。以前より店頭に並ぶ健康食品の数が増えていると実感できました。また同時にお客様の健康に対する関心が高まって来ていると知ることができました。

8. 実習評価と意見・要望

臨地実習 I（臨床栄養）の評価とご意見



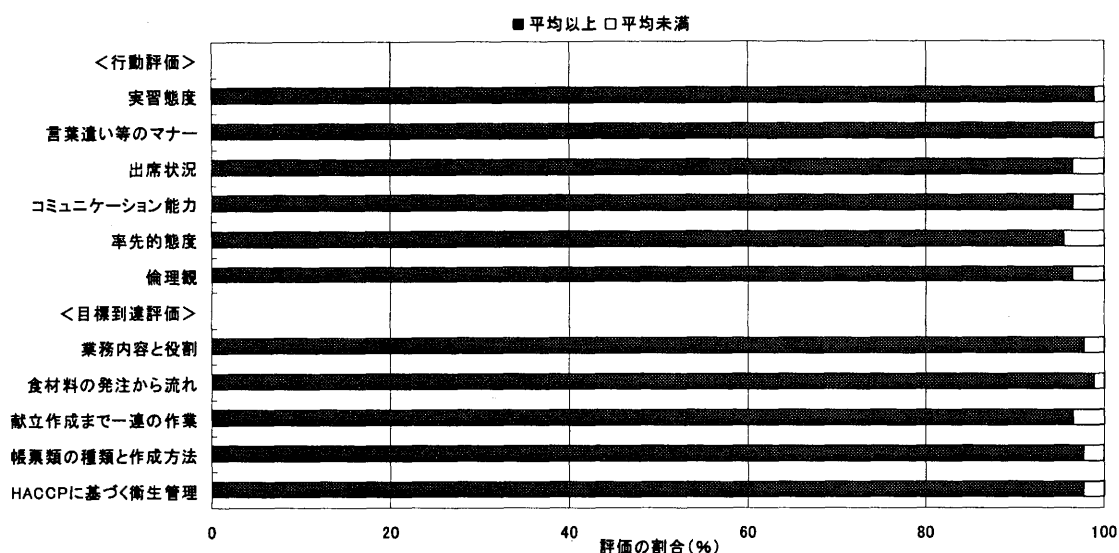
代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 院内の講習会（クリニカルパス研修会 新人研修会）医療安全対策委員会主催の胃瘻のケアとトラブル対策など時間外にもかかわらず積極的に参加し栄養部門における多職種との連携や役割など理解したと思う。
- ・ 臨床についてよく学ばれており、私達が使う言葉も理解されていました。分からない事については自ら解決する力もあります。実際に患者さんへポイント的に栄養相談をやって頂きましたが、実習生とは思えない程上手にできていました。
- ・ 臨地実習 I の評価において全て優良の評価成績でありましたことを報告させていただきます。
- ・ 大学で学んだことと実践を結びつけ、学びたいという姿勢が顕著にみられた。何事に対しても探究心があり、疑問に思うことは理解できるまで質問し、解決していた。
- ・ 実習態度も良く当院のスタッフともコミュニケーションもとれとても良い学生さんでした。1ヶ月という短い期間でしたが病院の管理栄養士としての仕事も把握している様に思えました。
- ・ 高齢者の食事介助や生活支援の体験を通じて、対象者とのコミュニケーションの大切さを知ると共に、QOLを尊重した栄養管理のあり方について考えることも多かったようです。
- ・ 集団栄養指導で多くの人の前で話をするのは、少し苦手のような様子でした。しかし一人の患者様の食事介助で毎日接する間の観察力や相手の思いに心を寄り添わせる様子には完成の豊かさがみられました。医療人として最も大切な誠実な人柄が現れていました。
- ・ 個人栄養指導の見学や集団栄養指導の体験から、指導の目的が「患者様に行動変容」をおこさせ、「疾病の改善に役立たせる」ことであり、指導者側の自己満足に終わってはならないことを実感したようです。
- ・ 当院の機能を理解し、みずから目標を定め、要点をよくまとめて実習していました。昼食時病棟ラウンドを実施していたので、一緒に毎日してもらいました。

- ・病棟を廻り患者様にお話を伺う際、積極性がありました。緊張から最初は笑顔が出ず早口になる傾向がありましたが指摘すると素直に受け止め改善する努力がみられました。
- ・日が経つ度に患者に対する考察力がすどくなっていったように思います。栄養指導では直接患者に指導を実施させたが、まだ十分に、自分の考えを患者に伝えることができないようだった。もう少し対話の技術を習得すれば、十分実践に使えるだけの力は備わっていると思いますので、病院栄養士として就職が決まることを節に希望致します。
- ・褥瘡患者さんのNST訪問、透析患者さんの食事についてなどいろいろ興味深く実習ができました。栄養相談もいろいろな病態の指導が見学できてよかったと思います。いろいろな患者さんの生活環境がありそれを理解しての相談は難しいと思います。
- ・病棟・外科診察の立ち会いなど積極的に取り組んでいた。進路が研究職とのことで、特に患者様との接点について学んだことは、臨床を体験することが今後少ないと思われるので有意義だったので。移植外科の回診でも積極的な質問がなされていた。
- ・臨床の現場を中心に実習を計画したが、特に内分泌外来診察に立ち会ったことは、今後の病院栄養士の業務にインパクトを受けた態度であった。
- ・病院栄養士の業務に対する関心は高く、熱心な様子は伝わりました。理論と実務との違いについても体験を通し感じたようです。模擬指導の実習では、指導手順はよく考えられていた。
- ・真面目な態度で早朝からカンファレンス、そして夜のNST勉強会にも出席されました。他職種との連携という面では治験事務局での業務にも触れ、病院業務の流れについてよく理解されたと思われます。
- ・病院とは病気を治す所ではなくて、人が治るためのフォローアップをする場所です。臨床データは、病気を治すデータではなく、人を生かすために使うことが良く理解できたのではないのでしょうか。
- ・病態の基礎知識はあり、日頃の学習状況の良好さがうかがえました。様々な業務に関心をもち、取り組んでいたようでした。
- ・実習項目ごとに基礎知識の確認をした上で着眼点について理解し、更に展開できる能力があると思います。実習ノート、課題についてのレポートからも大きな成果がみられたと評価しています。
- ・熱心に課題に取り組み、特に後半から成果がみられました。実習内容を正しく理解するだけでなく、立案能力やチームでの連携を図るためのコミュニケーション能力の向上が課題と考えます。
- ・初日の実習は、かなり緊張されていました。二日目からは、持ち前の明るさと誠実さで楽しんで実習されておりました。当院の栄養管理すべて四週間のなかで終了いたしました。特に臨床栄養管理には多くの時間をかけました。
- ・積極性が感じられました。反面、マイペースであり周りの空気を読むことが未熟であると感じました。忙しい時間にスタッフは手を止め質問に答えているので、途中でストップをかけることができました。
- ・実習時の髪型を何度か注意いたしました。実習前にロッカーできちんとまとめてほしかったのですが、長いまま厨房に出たり、まとめていても清楚な感じがなかったりしました。大量調理の調理場、病院内での実習の心得が少したりない様な気がしました。
- ・栄養ロールプレイでは「自分の言葉がまとめられない」「話を複雑に難しく語ってしまう」という面があります。
- ・病棟を廻り患者様にお話を伺う際、少し消極的に感じ棒読みの会話になってしまいました。しかし自身でも気づいており、今後の改善点として素直に受け止めてください。

- ・「対象者の状態の把握」、「栄養アセスメントに基づく治療計画」については、栄養管理計画（今年4月より加算）に関する重要なポイントであり、実習中、透析部カンファレンス、NST活動にも参加させ強調してまいりましたが、大学で学ばれたことと結びつける点では理解がもう一歩であったように思います。
- ・はじめは、少し消極的に感じたが、実務処理は良好である。今後は積極性を身につけて対象者の栄養指導等に活用できるようになってほしい。栄養士として自分の意見をしっかり持っており、また業務作業をするにあたり、理解が早く業務処理能力は良好でした。
- ・模擬指導の実習では、初対面の患者の問診担当に当たった為、予め考えた指導手順通りに行かず、苦勞したようです。しかしその中で学んだこともあったようで、今後に生かされると思います。
- ・SOAPで文章を作る際、ポイントを簡潔にまとめる力をつける必要がある。栄養アセスメントはあまり理解していなかったが、大まかな流れについては実習したつもりであるので、これからは個々の症状に合わせた具体的な手法を勉強し、身につけて頂きたい。
- ・実習内容を遂行するために、実習仲間と協力し、良好な人間関係を維持する態度がみられ、協調性は良好であった。反面、自分を出さないために積極性に欠ける面もみられた。
- ・病棟へ行く機会が多くなって患者さんへの対応、言葉のかけ方等にとっても苦勞したようです。言葉の使い方、タイミングは経験して味わうでしょう。
- ・当院でも今年4月の診療報酬改定に伴って、栄養管理計画書の作成が臨床での主たる業務となった。SGA評価にも同行し、臨床現場での実習が体験できました。栄養指導のロールプレイも行ってもらいましたが、知識不足が多く見られます。確かな助言が出来るように、基礎知識はしっかり身につけてほしいところです。
- ・院内の講習会（クリニカルパス研修会 新人研修会）医療安全対策委員会主催の胃瘻のケアとトラブル対策など時間外にもかかわらず積極的に参加し栄養部門における多職種との連携や役割など理解したと思う。

病院における臨地実習Ⅱ（給食経営管理・給食運営）の評価とご意見



代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ コストを意識して献立立案から調理作業への参加、（盛り付け、配膳 喫食状況の調査）は休日を利用しての予行練習をするなど真剣に取り組み給食の管理などの一連の流れは理解したと思う。
- ・ 当院は給食管理を業務委託しているので、実習では委託業者へお願いしました。厨房に入る際の身だしなみ、調理器具の衛生的な取り扱い等、正しくなされました。大量調理を経験されましたので、献立作成を今後行う上でも役に立つと思います。
- ・ 本人は食事栄養指導に興味を持っていますが、調理、献立作成、発注の各業務を土台にして初めて指導ができることが判ったと思います。実習に入る前の知識は他校生より有ると感じました。
- ・ 1ヶ月間、休まず、指示された実習内容をきちんと実施し、まとめることができました。こちらが求めていることを整然と仕上げられる力は、高い評価をつけることができると思います。
- ・ 調理現場でも自然なコミュニケーションがとれており、スタッフから学ぶ態度は好感を持たれていました。栄養部門の業務の動き、忙しさ、対応力を肌で感じてもらっていますので、今後の参考にしてもらえると嬉しいです。
- ・ 日々の目標を立て、それに向けてまじめに一生懸命に取り組んでいた。常に謙虚な気持ちを持ち、実習に臨んでいた。
- ・ 給食管理については説明不足な点がありましたので申し訳なく思います。実際に献立作成したので、現実的に理解されたと思います。
- ・ 調理作業の流れも早く理解でき、スタッフの一員として仕事をしてくれる様子が頼もしく感じられました。二年間城西大学の学生さんを担当させていただきましたが、良く教育されていると感じております。ご苦労様でした。
- ・ 病院食の種類が多さや個別対応のあり方について驚きを感じるとともに、間違いなく調整し、配膳するための工夫をしても人は間違ふものであるという現実に対して、安全管理についても考えたようです。調理・配膳業務は慣れないことで大変なようでしたが、熱心に取り組む姿がみられました。
- ・ 調理業務においては、病院給食特有の仕込み作業の流れが予想外だったようです。又、嚙下食・ソ

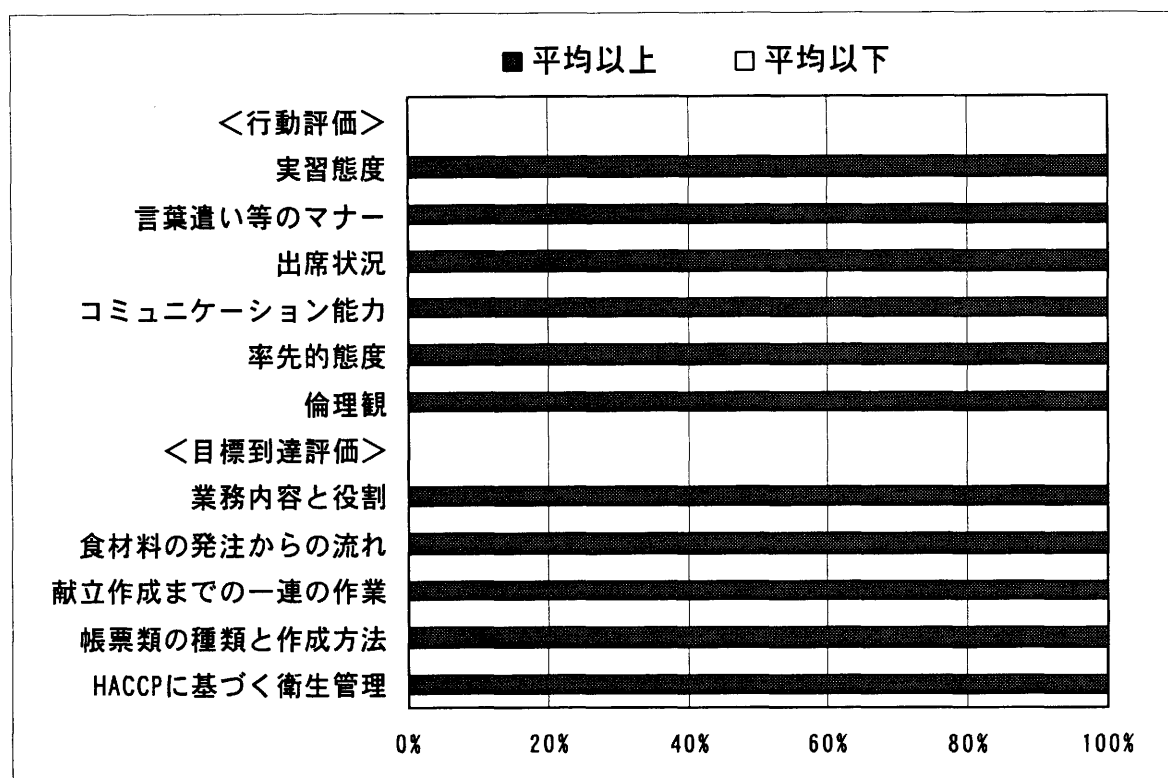
フト食の調理では、美味しく食べやすい形態の工夫や盛り付けなどに、患者様への細かな配慮についても学べたようです。何事にも熱心に取り組み、テキパキと作業を行う姿は、好感の持てる実習態度でした。

- この度の実習で管理栄養士は臨床だけでなく、給食管理についても知識の必要性を感じられたのではないのでしょうか。基本的な知識に基づいた実践力を養い、自信を持って管理栄養士として社会に貢献される事を願っています。
- 帳票類等について詳細な点検と処理能力に優れ、調理の重要性も感じており、給食管理に対して理解がなされている。分からない事は何でも質問し、意欲的でした。処理能力も高く、スムーズに業務をこなしていました。数字だけにとらわれない、心ある管理栄養士になって下さい。
- 目的意識を持って実習に臨んでおり、事務処理能力もあり、即戦力として期待できる。実習期間中、嗜好調査の原稿を作ったり、分からない事は積極的に質問したり意欲的でした。病院の栄養士として頑張ってください。
- 厨房の施設、設備が古いため、衛生管理がうまくできていないのが現状ですが、集団給食調理の実際を少しでも体験できればと考えます。
- 配膳方法の変化と食事アンケートの集計により患者様の病態と食についての関連を理解できたと思われる。
- 温冷配膳と食事アンケートの集計により患者様の食事病態と食事について理解を深めた。
- 非常に積極的に取り組んでいた。新しい課題への取組みの中で、自発的に目標を設定し、完結しようとする態度が見られた。実習内容の記述も回を重ねる内に充実してきた。
- 実習項目ごとに基礎知識の確認をした上で着眼点について理解し、更に展開できる能力があると思います。実習ノート、課題についてのレポートからも大きな成果がみられたと評価しています。対象者の食事の運営管理業務については、この期間での評価は困難と考え、到達評価3としています。
- 給食管理業務については理解できたようです。しかし献立作成については机上の計算と現実に大きな開きがあったように思います。実際に調理することで本人もその点には気づいたようです。栄養部門の中心となる上ではフードサービス業務をまとめるには不十分かと思われます。
- 給食業務全般（献立作成から発注業務、厨房内での調理作業、衛生管理など）において、実際の作業や見学等大変だったとは思いますが頑張ってくださいました。ただ栄養士として最も基本的な献立作成（常食から治療食への展開）、料理の知識、調理技術面でやや不安を感じる所がありました。
- 調理・盛付業務共に、もう少し積極性があると良い。調理の基本、いろいろな料理を習得し、今後の献立の立案 栄養指導業務に役立ててほしい。
- 真面目に実習に取り組んでいたが、栄養士に必要な基礎知識の習得が不十分なため、実習書の実習内容を記述する際に、課題の抽出と考察力が今一步という状況であった。
- 現場との接し方には不十分な時間でしたが、作成したメニューのイメージを対話によって盛りこめたことはよかったと思います。しかしメニューのイメージのふくらませ方が遅いようで、もっと考えられていたらよかったと思いました。献立決定までの時間が短縮されたらと思いました。
- 給食管理については、現場との直接的関係を持ちつつ、業務をおこなうことの大変さを確認されたようです。物事に真面目に取り組む態度は充分にあるようです。しかしながらテーマをこの面から、こう見たい、との積極性が欲しかったと思います。献立作成においては、具体的にイメージをもって考えられたらよかったのではないかと思います。
- HACCP に基づく給食施設のあり方について、当院の給食棟新築工事資料から病院の管理栄養士の給食管理業務が多岐にわたる知識が必要であることが理解されたと考える。物事を一面からではなく、

多方面から観て、良く自分なりに咀嚼し、評価する技を習得してほしい。

- ・ 食事提供は喫食者が完全喫食しなければ意味がない。献立・発注・検収・調理・盛りつけ・配膳のプロセスを十分に把握し、最終的に患者が喫食して、全て摂取できなければ、栄養的配慮をした意味がない。食を提供する全工程を把握し、設備費、光熱費、材料費、人件費、衛生管理費等のコスト計算が出来るよう訓練しなければならない。
- ・ 実習では「理論と実践の違いを見たい」と言っていたため、給食管理の実習においてそれを実感したようです。特に「理論」の現場での運用という面から観察をしていたようですが、まだ基本的な部分の把握は出来ていないようでした。しかし現場実習に来てはじめてわかることも多いのが給食管理です。

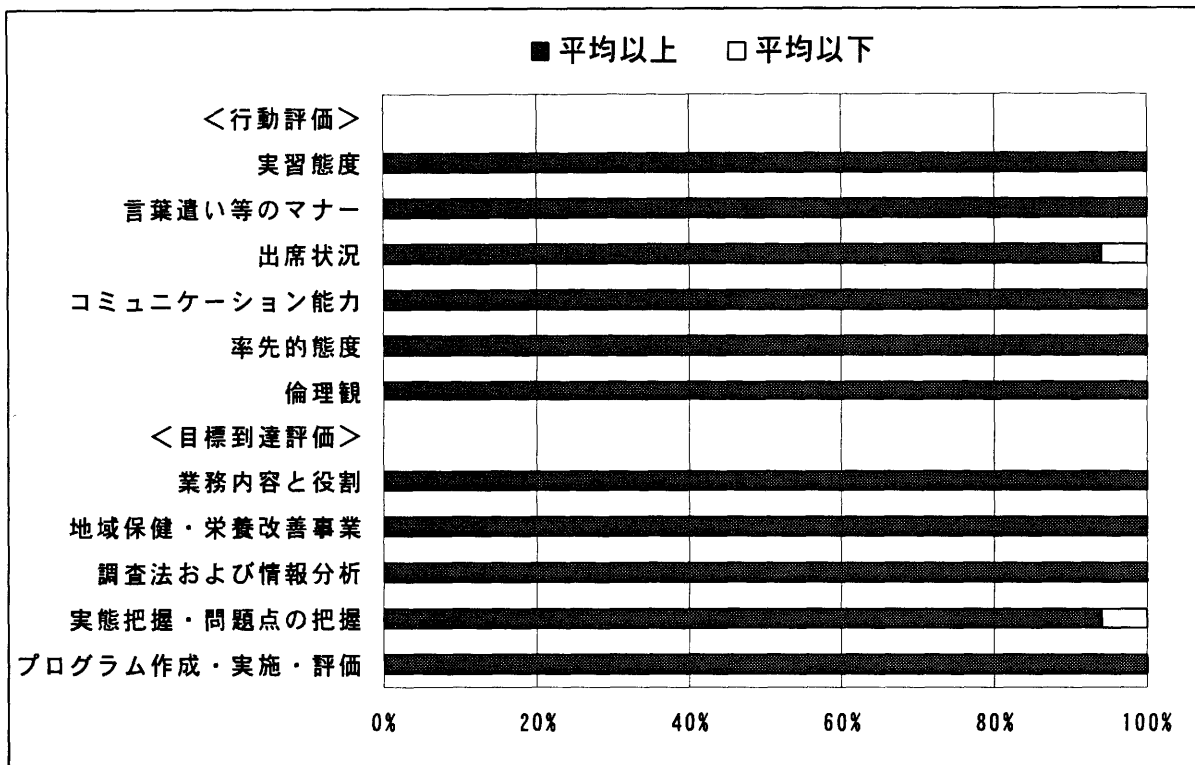
特定給食施設（病院を除く）における臨地実習Ⅱ
（給食経営管理・給食運営）の評価とご意見



代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 目標をしっかり持ち、実習に積極的に取り組んでいた。特に調理実習での大処理要領、衛生管理等良好である。また給食業務に対する意欲、責任感、協調性等十分に備えており、本実習の目的は達成できたものと思われる。
- ・ 給食管理システムを通じて、献立作成、調理等、一連の業務を理解し、栄養士と各担当者との業務関係についても、理解を深めてくれたと思います。
- ・ 大量調理にも、真面目な態度で実習に臨んでくれました。
- ・ 班員の先頭に立って、一生懸命頑張っている姿には感心しました。
- ・ 全般にわたり控えめな態度でしたが、真面目に実習に臨み、グループのまとまりもあり良かった。
- ・ 常に真摯な態度で実習に臨んでいました。
- ・ 質問も多く、リーダーとしても大変よくグループをまとめていました。
- ・ 質問も多くとても積極的でした。実習書からもいろいろなことを会得したことがうかがわれました。
- ・ 見本選定やアンケート集計では積極的に意見を述べてくれました。
- ・ 控え目ではありましたが、人の話に真剣に耳を傾けアンケート集計の訂正では率先して行動していました。
- ・ 積極かつ的確な質問も多く、指示、指導事項にも素直に応えてくれました。
- ・ 人の話にも真剣に耳を傾け、質問の受け応えもはっきりしていました。

臨地実習Ⅲ（公衆栄養）の評価とご意見

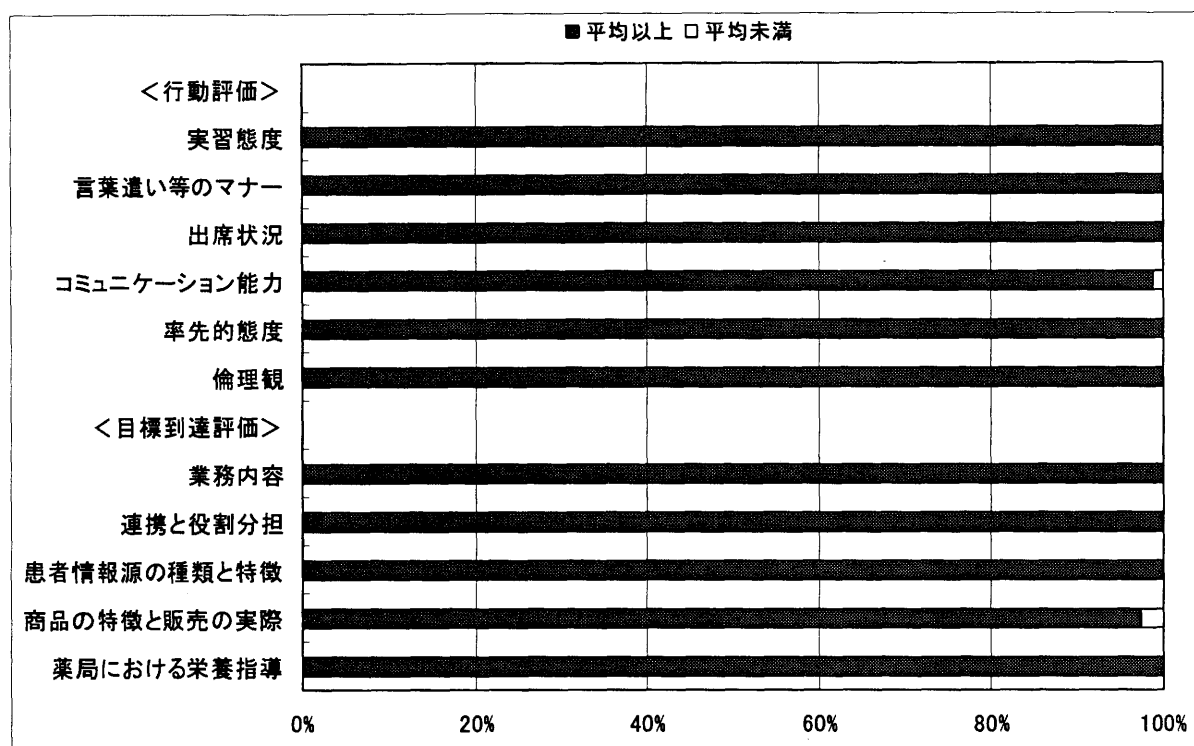


代表的なコメントを抜粋しました。

- ・ 行動評価、目標到達評価に顕著のとおり、期間中の態度等、申し分ない実習内容でした。
- ・ 居眠りが目立ちましたので評価は3にさせていただきました。
- ・ 真面目な実習態度で職員の間からも好感がもたれた。
- ・ 教室参加に当たり、事前学習してきており積極的に取り組む態度が見受けられた。今後、行政栄養士の具体的な役割について理解を深めていただきたい。
- ・ 前向きに参加し、教室出席者とコミュニケーションをとろうとする様子が伝わった。
- ・ 学ぶ姿勢がとてもよく出ていました。実習記録を拝見してもただ体裁を整える記録ではなく、しっかりと自分の目で捉え、自分の意見で記入されていると思います。
- ・ 今回あらかじめ出した課題に加え、「精神栄養」も担当していただきましたが、状況がわからない中でもしっかりと整理し課題に前向きに取り組み、実行することが出来ました。常に自分で振り返りながら、成長していくことを期待したいと思います。
- ・ 日々の実習目標をめざして、積極的に取り組んでいました。
- ・ 健康教育等、住民参加の教室の中では、もう少し積極的にコミュニケーションが図れるとよかったです。
- ・ 乳児健診時の指導媒体（おやつについて）を作成依頼したところ、よい作品が完成いたしました。次回健診時より使用させていただきます。ありがとうございました。
- ・ 様々な事業に参加し、多くの市民と接することで、健康福祉センターの役割等を学ぶことができたようです。

- ・ 赤ちゃん相談や両親学級では調理実習を通して喜んで食べてくれる赤ちゃんや妊婦さんに対して美味しい食事を食べさせてあげたい優しい気持ちになれたと思います。
- ・ 栄養相談の一連の流れでは、栄養だけでなく生活背景や様々な知識が必要であることが理解できたと思います。
- ・ 本人が今回持って臨んだテーマに対して積極性が感じられなかったところは残念でした。
- ・ スタッフや住民に対しての言葉づかいや態度は好ましいものでした。
- ・ 住民に話しかけるなどもう少し積極的な姿勢がみられるとよかったと思います。
- ・ 衛生教育については慣れないこともあったと思いますが、対象者に合わせた働きかけができていたと思います。
- ・ 事業を1つ担当してもらい、対象者の把握、献立の作成、衛生教育、アンケートの作成・発注から当日の準備などすべてを行ってもらいました。その中で問題点、改善点を自分自身でみつけることができたようです。参加者に話しかけ実習態度も積極的でコミュニケーション能力もみられました。

薬局実習の評価とご意見



代表的なコメントを抜粋しました。

- ・仕事を片付けるスピード、正確性はすばらしく良かったと思います。
- ・実習態度もよく積極的に仕事をし、短時間でいろんなことを理解してくれました。
- ・少し慣れるのに時間の必要を要するタイプのようなのだが、なかなかの観察力、注意力があり、仕事を願うするにも安心感があった。
- ・仕事に関してはまじめにしっかりと正確に行っていたと思います。
- ・仕事を少し教えるとしっかりとこなし、自分から深くまで知ろうという意欲もありました。
- ・落ち着いた学習態度で説明を良く聞いていますし、興味のあるところではさらに説明を求める場面もありました。
- ・積極性も申し分なく、短期間研修でなれない現場ではありながらも少しでも働きたい、溶け込みたいという前向きな心がけが十分に見て取れました。
- ・コミュニケーション能力、率先的態度はやや控えめの印象でしたが、実習に対する取り組み姿勢が日を追うごとに感じられるようになった印象がありました。
- ・積極的に質問や研修をしていただきこちらとしても新鮮に感じうれしく思いました。
- ・全体的に真面目に取り組む姿勢が見られ、又、疑問点を挙げ、質問するなどの積極性も見られとてもがんばっていたと思います。
- ・課題や作業も与えられたことだけでなく、自ら積極的に取り組んでいました。
- ・挨拶や礼儀がきちんとしていて好感が持てました。
- ・決められた時間に余裕を持って臨んでいた事は第一歩として好印象を持ってスタートできました。
- ・実習に対して積極的に発言し、考えを述べる姿勢に好感がもてました。

- ・ 明るい雰囲気も持ち合わせているため、受付業務における印象は非常に好感を持ちました。
- ・ 教わったことをすぐに実行に移せる実行力があると店のスタッフもみな感じています。
- ・ 指導した事をよくやり販売においての服薬指導に興味を持って勉強していた。
- ・ 薬局の特徴や栄養士の業務について十分理解しているようでした。
- ・ 少し緊張されていたのかもかもしれませんがおとなしく感じられました。
- ・ 性格的なことで少しおとなしい分実習にも出たのが少し残念でした。
- ・ 栄養指導等の面においては薬剤師と連携をとり、熱心の実習されていたと思います。
- ・ 緊張のための積極性に欠けているところは見受けられましたが、健康食品、医薬品についての課題は自分からも質問、意見を述べてくれ、勉強熱心な一面を受けた。
- ・ 積極性にかける部分もあったが、すべてにおいて真剣な姿勢で学ぼうとする様子がみられた。
- ・ 若干、言葉使いに難あり。すぐに治ると思われますので心配はしていませんが…
- ・ 決して悪い印象ではありませんが、言葉使いが場にそぐわないように感じる事がありました。丁寧な言葉使いなので、ぎこちなさがなくなるとさらに良いと思います。
- ・ 学習に対しても目的をしっかり持ち、短い期間で多くを吸収していきたいという姿勢が感じられました。学校で学んでいることもしっかり身につけているようで感心しました。
- ・ 処方箋の受け取りを中心に行っていた際も、ただ受付で処方箋を待っているだけでなく待合室の様子を観察しており、患者さんにお茶をすすめたり、汚れたテーブルを拭いたりするなど、とても素晴らしい対応でした。今持っている患者さんへの想いを今後も持ち続けて欲しいと思います。
- ・ とにかくよく気がつき、自分から動いてくれたので、業務中はとても助かりました。受付にいても待合室を良く見ており、常に患者さんのことを気にかけて行動していました。
- ・ 糖尿病患者の食事指導について献立から実際に調理した写真も添えて提案して頂き感心しました。
- ・ 減塩の食事指導について献立から実際に調理した写真を添えて提案して頂き感心しました。
- ・ QOL 維持向上のための栄養についての思いは多いに持っていると感じましたが、病気を抱えた方の思いにまで配慮した指導のできる栄養士さんになってほしいと願っております。薬局業務の変化する状況に対応できる社会性があり、業務に支障なく実習を終了できました。
- ・ こちらの力量不足による説明も最大限理解し、店内での実習中も接客の第一歩といえる挨拶も勇気を持って声に出しており、感心した。
- ・ コミュニケーション能力は高いものを持っています。
- ・ これからも勉強を重ねて患者さんの質問には自信を持って答えられる栄養士さんになって下さい。
- ・ ダイエットの食事指導にも興味を持ち、積極的に質問等もして良かったと思います。
- ・ ドラッグと調剤をやっている店での栄養士さんは薬剤師の補助も多いとは思いますが、やりがいあると思いますので、就職先の一つに考えていただけるようになるとうれしいと思います。
- ・ もし、あえて希望するならば一般人に向けてより簡単な言葉で説明できるようになればドラッグストアでの実習は完璧であったと思う。
- ・ 栄養士としての立場での薬局の仕事はどうして良いかわからず、難しかったと思います。今回は薬局での流れの中で個々の患者さんについて少し食事指導をしてもらいました。患者さん個々と話せるせっかくのチャンスですから積極的に話を伺う事が大切かと思っています。研修中は遠慮することなくもっと図々しい位の積極性があっても良いかと思っています。
- ・ 栄養指導におきましては、現場の薬剤師の指導と競合する面も生じて来ますので栄養士として食材を有効に活かし、生活の中で実行できるプランを提案して行って頂ける成長を期待いたしました。今からの時代望まれる領域と思います。

- ・ 課題として、患者様に合わせた献立を立てる作業をしてもらいましたが、短時間で仕上げる事が難しいようでした。メニューの組み合わせももう一つとあったところでした。
- ・ 外の接客も私が接客していることを良く聞いて後半は1人で簡単な接客も出来るようでした。
- ・ 患者様に応じた、一方的ではない柔軟な提案の仕方が身につくとさらに良いと思います。
- ・ 患者様に食事のアドバイスをする機会があり、自信になったと思います。
- ・ 机上の学習では知りえない実際の栄養指導に必要な知識や技術を学べた様子であった。
- ・ 勤務態度、商品に対する関心度が非常に高く、作業中でも商品をよく観察し、自分なりの考えを報告していただき、こちらが学生さんから教わることも多かったと思います。
- ・ 最初は接客にむかないのではないかと思いましたが、2日目からはずいぶんなれてお客様とお話もできるようになりました。
- ・ 字を丁寧に遂行しながら文章を書けるようになるとさらに良いと思います。
- ・ 自主的な行動が増えるとさらに良いと思います。
- ・ 自分の考えをしっかり持って実習を受けているように感じました。
- ・ 自分の体験からの説明と、患者の状態・要求を考慮しての栄養指導は、なにか機会があれば、自分でも利用してみたいかなと感じさせるものでした。
- ・ 疾患別メニューを提出していただきました。ソフトを使った写真入のメニューは、とても見栄えの良い構成でした。
- ・ 疾患別メニューを提出していただきました。最初は手直ししなければならないところもありましたが、最後の方では、改善されていました。
- ・ 実際には仕事をしながらいろいろなことを理解していくと考えますが、日ごろから、自分の資格や学んでいることに対しての興味を持った方が良い印象を受けます。
- ・ 実際に患者様に栄養指導をしていただく機会を設けられなかったため、糖尿病や高尿酸血症の患者様を想定したシミュレーションを行いました。その場で課題を与えて指導してもらいましたが始めるにあたり、そもそもどのように指導したら良いかが分からないようでしたので、こちらからいくつかポイントを挙げて進めていきました。基本的な質問の他に、引っかけ問題等を出したところ、自分の言葉できちんと説明できていました。
- ・ 実習といえども社会活動の一環ですのもう少し心構えがあったのではと思います。
- ・ 実習に積極的に参加、食品の成分等、きちんと調査が出来、わかりやすく説明も出来信頼度の高い文献からの引率も出来、こちらが教えていただいた。
- ・ 実習に対して積極的に発言し、考えを述べる姿勢に好感がもてました。物事を多面的に考え、見るチカラを身につけて行ってほしいと思います。
- ・ 実習態度は控えめでしたが、実習でみて、ふれて実感した事がたくさんあったようです。何事に対してもチャレンジしていくチカラを身につけて行ってほしいと思います。
- ・ 社会人としての勉強が必要です。
- ・ 宿題はきちんと調べ提出してくれた。販売時患者への服薬や栄養業務をよくみていた。
- ・ 初めて見るものばかりで驚きが会ったと思いますが、積極的に覚える努力をしていました。
- ・ 商品について調査し相手側が何を望んでいるのかに気づき以降、その視点に立つことを反省、今出来る事より、これから大切と思われることを学ぼうとする姿は社会人として期待していきたい。
- ・ 常に「自分ならどうするか」と考える姿勢はすばらしいと思いますが、断定的に判断する側面があるようなので、もう少し柔軟な発想ができるとう良いと思います。
- ・ 積極性も十分にありコミュニケーション能力は高いものを持っている。

- 接客に対してもお客様の情報等を教えていただき、販売員として、栄養士として、いろいろ考えながら実習されていたと思います。
- 接客や当社従業員とのコミュニケーションは積極的に行ってくれました。このコミュニケーション能力を患者さんに活かせればよいと思われます。
- 接客業として現場に立つ訳ですからもう少し、明るく元気よく接客して頂けたら良いと思います。
- 多くの疾患別メニューを初日に提出していただき、大変、感心しました。いろいろな仕事を頼んだ中で、OTCの「ザ・ガード」「パンシロンN10」のプロモーションを1から最後まで考えて作っていただきました。いろいろな案を自分で考え、数点に絞込み、決定をらせていただくなど、考えてからの計画順序や作成は、とても感心します。
- 調剤薬局では栄養指導を、当薬局も必要な指導と思います。
- 低カロリーの献立も作っていただき、質問にもそれなりに答えられ知識も豊富だと見受けられました。患者さんから情報を引き出すにはどうするのが良いかよくわかっていました。
- 日ごとに慣れていろいろと質問をしてくれた。宿題もきちんとして商品に興味を持つようになった。
- 彼女にたいしては小売業についての話題を主に話しましたが、本人も興味を持ち少しでも我々の仕事を理解してくれれば今回の実習は成功といえるのではないのでしょうか？
- 物事の本質を捉え、簡潔にまとめる能力があると思いました。
- 毎日の報告で商品に対してこうしたらいいと思う等のアドバイスも頂きこちらも勉強になりました。
- 薬局における栄養士の業務（栄養指導の他、医療事務の業務など）に興味を持って学ぶ姿勢がみられた。
- 薬局の投薬指導にも栄養学的な知識が必要なことも分かっていただいたと思います。又栄養指導において服用している薬の知識があれば患者さんが今どういう状態であるかが把握でき、そういう意味でもある程度薬の知識を身につけることは大切だという事を分かっていただいたと思います。
- 薬局業務の全般は理解していただけたと思います。栄養士として薬局での業務の必要性をあまり感じてはもらえなかった様な気がしています。
- 薬局店頭では病院以上に患者様の生の声が耳に入るので少し辛い部分もあったかもしれませんが、在宅での患者様の実態を捉えて、今後の学校での学習に役立てていただきたいと思います。
- 欲を言えば、資料を読み、内容をまとめる作業でもう少し、要点をコンパクトにできると良いと感じました。

平成18年 城西大学薬学部医療栄養学科
臨地・薬局実習報告書

発行日：平成18年10月1日

編集：城西大学薬学部医療栄養学科
臨地実習委員会

